AX-Networker's-Utility ユーザーズガイド

フィルタ管理ツール編

第18版



■対象製品

このマニュアルの対象製品は AX-Networker's-Utility (フィルタ管理ツール Version 2.8)です。

■輸出時の注意

本製品を輸出される場合には,外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の 輸出関連法規をご確認のうえ,必要な手続きをお取りください。 なお,不明な場合は,弊社担当営業にお問い合わせください。

■商標一覧

IPX は, Novell, Inc.の商標です。

Oracle と Java は, Oracle Corporation 及びその子会社, 関連会社の米国及びその他の国における登録商 標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標および商標です。 Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標および商標です。 Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標で す。

インテル Core は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

そのほかの記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■ご注意

このマニュアルの内容については、改良のため、予告なく変更する場合があります。

■発行

2020年 3月 (第18版)

■著作権

All Rights Reserved, Copyright(C), 2010, 2020, ALAXALA Networks, Corp.

変更内容

【Ver. 2.8】

表 変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
1.3 利用環境	表 1-1 装置側環境で,対象ソフトウェアバージョン
	更新しました。
	表 1-2 障害復旧管理 PC 側環境で,以下を更新しま
	た:
	・動作確認済み Java 実行環境を更新

はじめに

■対象製品およびバージョン

このマニュアルは AX-Networker's-Utility (フィルタ管理ツール)を対象に記載しています。また、ツールバー ジョン Ver. 2.8 の機能について記載しています。操作を行う前にこのマニュアルをよく読み、書かれている 指示や注意を十分に理解してください。また、このマニュアルは必要なときにすぐ参照できるよう使いやす い場所に保管してください。

■対象読者

本製品を利用したネットワークシステムを構築し,運用するシステム管理者の方を対象としています。また, 次に示す知識を理解していることを前提としています。

- ネットワークシステム管理の基礎的な知識
- 装置に関する基礎的な知識

■このマニュアルの URL

このマニュアルの内容は下記 URL に掲載しております。

http://www.alaxala.com/

■このマニュアルでの表記

API	Application Programming Interface
AXCM	AlaxalA Config Master(AX-Config-Master)
CA	Certificate Authority
CLI	Command Line Interface
CSV	Comma Separated Values
DB	Data Base
GUI	Graphical User Interface
HTTP	HyperText Transfer Protocol
ID	Identifier
IP	Internet Protocol
IPv4	Internet Protocol version 4
IPv6	Internet Protocol version 6
IPX	Internetwork Packet Exchange
JRE	Java SE Runtime Environment
L2	Layer 2
L3	Layer 3
LAN	Local Area Network
LLDP	Link Layer Discovery Protocol
MAC	Media Access Control
OAN	Open Autonomic Networking
ON	Open Networking
PC	Personal Computer
SDK	Software Development Kit
SFP	Small Form factor Pluggable
SMTP	Simple Mail Transfer Protocol

SQL	Structured Query Language
SSL	Secure Socket Layer
TCP	Transmission Control Protocol
TLS	Transport Layer Security
VLAN	Virtual LAN
VRF	Virtual Routing and Forwarding
XFP	10 gigabit small Form factor Pluggable
XML	Extensible Markup Language

製品の正式名称と.	このマニュ	アルでの表記を	次の表に示します。
-----------	-------	---------	-----------

正式名称	このマニュアルでの表記
Java SE Runtime Environment	Java
Java SE Development Kit	
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise	Windows Server 2008 R2 または Windows
Operating System	
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard	
Operating System	
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard	Windows Server 2012 R2 または Windows
Operating System	
Microsoft® Windows® 7 Professional	Windows7またはWindows
Microsoft® Windows® 7 Enterprise	
Microsoft® Windows® 7 Ultimate	
Microsoft® Windows® 8.1 Pro	Windows 8.1 または Windows
Microsoft® Windows® 8.1 Enterprise	
Microsoft® Windows® 10 Pro	Windows 10 または Windows
Service Pack	SP

■KB(バイト)等の単位表記について

1KB(キロバイト), 1MB(メガバイト), 1GB(ギガバイト), 1TB(テラバイト)はそれぞれ 1,024 バイト, 1,024×1,024 バイト, 1,024×1,0

■このマニュアルで使用する記号

このマニュアルで使用する記号について説明します。

記号	説明
[] (角括弧)	メニュー名,画面名,またはフィールド名を表しま
	す。
	メニュー名を表す場合は,上位メニューから下位メ
	ニューへとメニューが階層化されていて、下位のメ
	ニューを示す場合は、上位と下位のメニュー名の間
	をハイフンでつないで表記します。
	例:[ファイル] - [終了]
	画面名を表す場合は、角括弧内に画面名を表記しま
	す。
	例 : [IP アドレスの入力]画面
	フィールド名を表す場合は、角括弧内にフィールド
	名を表記します。
	例:[IP アドレス]欄
〔 〕 (きっ甲)	ダイアログボックス内のボタン名を表します。
	ダイアログボックス内のボタン名は、括弧内にその
	ボタンのラベル名を表記します。
	例:〔終了〕ボタン

目次

1. 13	まじめに1
1.1	こんなことができます2
1.2	収容条件11
1.3	利用環境12
1.4	注意事項14
1.5	サポート項目16
2. 当	^進 備17
2.1	フィルタ管理ツールのインストール確認18
2.2	フィルタ管理ツールの起動19
3. 7	7ィルタ設定
3.1	装置を登録する23
3.2	フィルタを管理する
4. ツ	ノールの設定ファイル
4.1	ツールの設定ファイル63
4.2	ツールの装置情報ファイル68
5. ł	ヽラブルシューティング
5.1	トラブル発生時の対応72
5.2	メッセージー覧74
5.3	ログファイル91
6. 作	វ録 92
6.1	サポート項目

1. はじめに

この章では、フィルタ管理ツールの概要について説明します。

- 1.1 こんなことができます
- 1.2 収容条件
- <u>1.3 利用環境</u>
- <u>1.4 注意事項</u>
- <u>1.5 サポート項目</u>

1.1 こんなことができます

AX-Networker's-Utility(フィルタ管理ツール)は、ネットワーク上に存在する 装置のフィルタ情報をリモートから管理できます。

- ・ 設計したフィルタ情報は即時反映でなく、フィルタ情報作成後、まとめて複
 数装置の複数インタフェースに適用することができます。
- CLIでは難解であった装置のフロー検出条件の設定を、GUIを利用して簡単に実施できます。装置間のフィルタ情報に差分があった場合も、色で対象のフロー検出条件を表現できます。

これにより,フィルタ情報の修正・差分箇所やネットワーク全体のフィルタ情報を GUI から確認できるようになります。また管理対象となる装置の台数が増加した場合も,必要最低限の操作を行えばフィルタ構築作業が可能となるため, 作業者の負荷を軽減できるようになります。

1.1.1 使用例

本節では,ユースケースに応じた,フィルタ管理ツールの使用例を説明します。

例:既設のフィルタ設定を新規導入装置にコピー

人員増員などによるフロア拡張に伴い,新規装置を導入するケースがあります。 その際,フロアスイッチ内の既設装置の設定をフィルタ管理ツールにて管理す ることで,(1)既設装置のフィルタ情報を一括して収集,(2)新規装置の該当イン タフェースに対して(1)のフィルタ情報を設定,といった2ステップでフィルタ 情報のコピーが可能となります。



図 1-1 既設のフィルタ設定を新規導入装置にコピー

例:フロー検出条件の修正を複数装置に一括反映

部署新設に伴い, 内部のローカル IP アドレスを新規に付与するケースがありま す。その際, その IP アドレスを使用できるようにフィルタ定義を追加します。 フィルタ管理ツールにて, (1)当該フィルタを定義, (2)(1)のフィルタ情報をグル ープ内装置すべてに一括設定, といった2ステップでフィルタ情報の複数装置 への追加が可能となり, 管理者を煩雑な作業から解放することができます。



図 1-2 フロー検出条件の修正を複数装置に一括設定

例:アプリケーション起動ツール等から本ツールを起動したい場 合

コマンドライン文字列を登録してアプリケーションを起動するツール(アプリ ケーションランチャ)等から本ツールを起動したい場合には,以下の作業ディ レクトリ(カレントディレクトリ)およびコマンドライン文字列を指定してく ださい。

[作業ディレクトリ]

<TARGETDIR>¥FilterTool

[コマンドライン文字列] ※1行で記述します

"<TARGETDIR>¥FilterTool¥FilterTool.bat"

<TARGETDIR>…AX-Networker's-Utility インストールディレクトリ

デフォルトは C:¥Alaxala¥AX-Networker's-Utility

1.1.2 フィルタ管理ツール構成

フィルタ管理ツールの構成を図に示します。

図 1-3 フィルタ管理ツールの構成



構成要素を以下に示します。

① フィルタ管理 PC

AX-Networker's-Utility (フィルタ管理ツール)をインストールした PC で す。各装置のフィルタ情報を取得し、フィルタ情報の修正や修正内容の反 映を GUI で行います。

② 装置情報ファイル

グループとグループに所属する装置の情報を記載した,CSV 形式のファイル です。フィルタ管理ツールから、グループ、装置の登録を行って作成する か、スプレッドシートアプリケーションやテキストエディタで作成します。

③ グループ

装置のフィルタ管理を行う操作単位です。グループへは複数の装置を登録 することができます。フィルタ情報を一括してグループ内装置すべてへ設 定することが可能です。

④ 装置

フィルタ設定を行う対象の装置です。

1.1.3 画面構成

フィルタ管理ツールの画面構成を以下に示します。

図 1-4 フィルタ管理ツールの画面構成 (1)

n .	, 🛃 フィルタ管理ツール - (C:¥装置情報.csv								• X
ע	ファイル(<u>E)</u> グループ(<u>G</u>)	装置(<u>N</u>) アクセスリスト	ヽ <u>(A)</u> 実行(E) ヘルプ(<u>H)</u>						
	<mark>装置一覧</mark> □ 〕 グループA	AccessList1								
	→ p 192.168.0.1(装置 AccessList10 ・● 192.168.0.2(装置)	1 グループ名: グループA 2 フロー種別: Laver3-E:	IPアドレス: 192 xtended 補足説明:	.168.0.1 Group A Filter 10	3					
	 ● 192.168.0.3(装置) ● 192.168.0.4(装置) 									
	■ ● グループB	アクセスリストを適用す	る装置およびインタフェース	の確認と設定を行います。	. ④					1
	● 192.168.1.1(装置)	1. 2 装置名	IPアドレス 装置	モデル ポード情報	報 VLAN情報	設定I/F	中維種別	MACモード	ステータス	
	グループC □ グループD	<u>装置1</u>	92.168.0.1 AX36	30S-24T2X 0/8		in	なし	なし	装置情報取得	終了 終了
	● 192.168.3.1(装置	1	132.100.0.2	000 241			(5)) Bran	RELE IN HIS ALIG	W1/PA
	2 192.168.3.2(装置)	2						19/11	編朱	用印水
	l l	ロー検出条件一覧	調力と設定を行います		0					
		7日 検出条件数:	1		6					
		シーケンス マカショ	、送信元送信元	宛先 3	ī先 VLAN	7 <u>0</u> トコル	tos值 送信:	元 宛先	ack	syn
		番号 / / / / 3 10 許可	IPv4アドレス ワイルド 11110 000255	カード IPv4アドレス 5 i anv	ハルドカード 番号	番号 in	에 제 ~ 1	*番号 ボート番	持 フラグ off	750 off
		iojur 3	1.1.1.0	40	1	(7)				
							0 編集	38-l	て編集	削除
								8	アクセスリス	トの反映
	<							Ŭ,		WAX-N
- (日付	時刻	IPアドレス	メッセージ	,					
	2014/01/26	14:21:01.843	192.168.0.2	<u>装置 192</u> 装置 192	106.0.2(装置2)に対する 168.0.1(装置1)に対する	D装置情報取得	FJP正常終了しま 財正常終了しま	:uz.)	^
	2014/01/26	14:23:41.623	192.168.0.3	装置 192	168.0.3(装置3) (こ対する	。装置情報取得 まま取得が正常	が正常終了しま	:lt.		
	2014/01/20	14-20-41.700		2/-/10	バル フロ に対りの液面!	日本18月21年が出生す	THR: I USKUICO			

画面を構成する要素の説明を以下に示します。

① メインメニュー

フィルタ管理ツールの操作を行うためのメニュー項目が定義されています。

② 装置一覧ツリー

装置をグループ毎にツリー表示します。グループの追加/変更/削除,装置の追加/変更/削除,装置情報取得,スタートアップコンフィグへ反映, アクセスリストの反映の即時実行ができます。

③ アクセスリストタブ内グループ情報

指定したアクセスリスト情報が所属するグループ名, IP アドレス, フロー 種別,補足説明を表示します。

- グループ名…指定したアクセスリストを持つ装置が所属するグループ名を示します。
- IP アドレス…指定したアクセスリストを持つ装置の IPv4 アドレスを 示します。
- フロー種別…指定したアクセスリストを持つ装置に設定されている フロー種別を示します。
- 補足説明…指定したアクセスリストに設定されている補足説明を示します。
- ④ グループ内装置情報テーブル

指定したアクセスリスト情報が所属するグループ名,装置情報を一覧表示 します。テーブルの左から順に以下の情報を表示します。なお,ヘッダを クリックすると,クリックした列の内容でソートできます。

- ・ 装置名…装置へ付与した装置名を示します。
- IP アドレス…装置へ付与した IPv4 アドレスを示します。
- ・ 装置モデル…装置のモデルを示します。
- ・ポート情報…対象のアクセスリストを設定している装置のポート情報(ポート番号またはチャネルグループ番号)を示します。装置がAX4600S 11.11.B 以上, AX3800S/AX3650S 11.8 以上および AX3660S 12.0.A 以上の場合,ポート番号の形式は {スイッチ番号}/{NIF 番号}/{ポート番号} になります。それ以外の装置の場合, {NIF 番号}/{ポート番号} になります。

※チャネルグループ(リンクアグリゲーション)が定義されているポ

ートの場合,以下のように <ポート番号>(la <チャネルグループ番号 >) の形式で表記されます。

例:0/1(la 10)

VLAN 情報…対象のアクセスリストを設定している装置の VLAN 情報を示します。

※グローバルネットワークに所属する VLAN 情報のみ表示します。

・ 設定 I/F…フィルタ検出を行うインタフェースを示します。

in…パケット受信側でフィルタを適用します。

out…パケット送信側でフィルタを適用します。

・ 中継種別…フィルタ検出を行うレイヤを示します。

layer2-forwarding…レイヤ2でフィルタ検出を行います。

layer3-forwarding…レイヤ3でフィルタ検出を行います。

たし…AX4600S/AX3800S/AX3600S/AX2500S/AX2400S/

AX2200S/AX2100S/AX1250S/AX1240S の場合,なしで表示されます。

・ MAC モード…MAC ヘッダにてフィルタ検出を行うモードを示しま す。

有効…MAC モードが有効の状態になります。

なし…MACモードが無効の状態になります。

 ステータス…装置の処理状況を示します。処理失敗時はピンク色で 表示されます。実際には以下が表示されます。

装置情報取得中…メニューからの装置情報取得中

装置情報取得終了(成功)…メニューからの装置情報取得成功

- 装置情報取得終了(失敗)…メニューからの装置情報取得失敗
- 装置情報取得終了(中止)…メニューからの装置情報取得中止
- 設定変更中…メニューからのアクセスリスト反映中または,

スタートアップコンフィグへの反映中

設定終了(成功)…メニューからのアクセスリスト反映成功

または、スタートアップコンフィグへの反映成功

設定終了(失敗)…メニューからのアクセスリスト反映失敗

または、スタートアップコンフィグへの反映失敗

設定終了(中止)…メニューからのアクセスリスト反映中止

または、スタートアップコンフィグへの反映中止

⑤ グループ内装置操作ボタン

以下の操作を行うボタンです。

- ・ 追加…グループ内装置一覧上で選択した装置に対して、アクセスリストを適用するインタフェースを新規に追加します。
- ・編集…グループ内装置一覧上で選択した装置に対して、アクセスリストを適用するインタフェースを編集します。
- ・ 削除…グループ内装置一覧上で選択した装置に対して、アクセスリ ストを適用するインタフェースを削除します。
- ⑥ グループ内フロー検出条件一覧テーブル

指定したアクセスリスト情報を構成するフロー検出条件を一覧表示します。 テーブルの左から順に以下の情報を表示します。なお、ヘッダをクリック すると、クリックした列の内容でソートできます。グループ内にフロー検 出条件の中身に差分がある場合、対象を黄色で表示します。またフロー検 出条件の中身に未サポートのパラメータがある場合、対象をピンク色で表 示します。

- ・ シーケンス番号…シーケンス番号を示します。
- ・アクション…フィルタ検出時の動作を示します。

許可…アクセスを許可します。

拒否…アクセスを拒否します。

- ・送信元IPv4アドレス…パケット内の送信元IPv4アドレスを示します。
- ・送信元ワイルドカード…パケット内の送信元 IPv4 アドレスにかかる マスクを示します。
- ・ 宛先 IPv4 アドレス…パケット内の宛先 IPv4 アドレスを示します。
- 宛先ワイルドカード…パケット内の宛先 IPv4 アドレスにかかるマス クを示します。
- ・ VLAN 番号…VLAN 番号を示します。
- ・プロトコル番号…プロトコル番号またはプロトコル名称を示します。
- ・ tos 値…tos 値または tos 名称を示します。
- ・送信元ポート番号…送信元ポート番号または送信元ポート名称を示します。

- ・ 宛先ポート番号…宛先ポート番号または宛先ポート名称を示します。
- ・ ack フラグ…ack フラグを示します。

on…ack フラグを検出します。

off…ack フラグを検出しません。

・ syn フラグ…syn フラグを示します。

on…syn フラグを検出します。

off…syn フラグを検出しません。

⑦ グループ内フロー検出条件操作ボタン

以下の操作を行うボタンです。

- ・ 追加…フロー検出条件を新規に追加します。
- ・ 編集…フロー検出条件一覧上で選択したエントリを編集します。
- コピーして編集…フロー検出条件一覧上で選択したエントリをもと
 にフロー検出条件を新規に追加します。
- ・ 削除…フロー検出条件一覧上で選択したエントリを削除します。
- ⑧ アクセスリスト反映操作ボタン

設定したアクセスリストをグループ内装置へ適用します。

⑨ ログ情報テーブル

画面操作,処理状況を時系列に表示します。ヘッダをクリックすると,ク リックした列の内容でソートできます。

1.2 収容条件

フィルタ管理ツールの収容条件を示します。

(1) 同時処理数

同時に処理できる装置台数の上限は5台です。

(2) ログ情報テーブルのレコード数

ログ情報テーブルのレコード数の上限は3000エントリです。

1.3 利用環境

フィルタ管理ツールの利用環境を以下に示します。

表 1-1 装置側環	境
------------	---

対象装置	AX6700S/AX6600S/AX6300S
	AX4600S/AX3800S/AX3600S/AX2500S/AX2400S
	AX2200S/AX2100S/AX1250S/AX1240S
対象ソフトウェア	AX6700S/AX6300S…10.8~11.9.U
バージョン	AX6600S…11.1~11.9.U
	AX4600S…11.11.B~11.15.G%1
	AX3800S…11.6~11.14.R%1
	AX3660S…12.0.A~12.1.J※1
	AX3650S…11.5~11.14.R※1
	AX3640S…10.8~11.14.R
	AX3630S…10.8~11.11.E
	AX2500S…3.1.A~4.15※1
	AX2400S…10.8~11.7.N
	AX2200S…2.4~2.10
	AX2100S…2.6~2.12
	AX1250S/AX1240S…2.3~2.10

^{※1} AX4600S/AX3800S/AX3660S/AX3650S/AX2500Sのスタック構成時は未サポ ートです。

表 1-2 フィルタ管理 PC 側環境

推奨 OS	32bit版 Windows 7 Professional (x86) SP なし, SP1
₩1	32bit版 Windows 7 Enterprise(x86)SPなし, SP1
	32bit版 Windows 7 Ultimate (x86) SP なし, SP1
	32bit版Windows 8.1 Pro(x86)SPなし
	32bit 版 Windows 8.1 Enterprise (x86) SP なし
	32bit 版 Windows 10 Pro (x86) Version 1809
	64bit版 Windows Server 2008 R2 Standard (x64) SP なし, SP1
	64bit 版 Windows Server 2008 R2 Enterprise (x64) SP なし, SP1
	64bit 版 Windows Server 2012 R2 Standard (x64) SP なし
	64bit版 Windows 7 Professional (x64) SP なし, SP1
	64bit版 Windows 7 Enterprise (x64) SP なし, SP1
	64bit版 Windows 7 Ultimate (x64) SP なし, SP1
	64bit版Windows 8.1 Pro(x64)SPなし
	64bit 版 Windows 8.1 Enterprise (x64) SP なし
	64bit版 Windows 10 Pro (x64) Version 1809
CPU	インテル Core 2 Duo 以上
メモリ	2GB 以上
HDD	1.9GB 以上
Java	JRE 8※2
実行環境	Oracle JDK 11(LTS) 2

※1 Linux 等推奨環境以外でも動作します(動作保証外です)

※2 動作確認済みの Java 実行環境は以下になります。

- JRE 8 Update 241
- JDK 11.0.2~11.0.6

上記より新しいアップデートリリースについては動作保証外になります。

1.4 注意事項

フィルタ管理ツールを利用する上での注意事項を以下に示します。

(1) アクセスリスト内のフロー検出条件の最大数

1アクセスリストのフロー検出条件数は,最大4000件です。それより多い場合, 対象のアクセスリストは操作できません。なお,操作できない対象のアクセス リストは,装置一覧ツリー内に「アクセスリスト名称(操作不可)」として表示 します。

(2) グループ内のアクセスリストの扱い

アクセスリストはグループ内装置すべてに一括して設定するため,グループ内 アクセスリストのフロー検出条件は,順序・条件をグループ内ですべて統一し てください。順序・条件に差分がある場合,ユーザ操作によっては既設の設定 を意図しないものに変更される可能性があります。

(3) グループ内の装置構成

グループ内装置は同じ機種およびソフトウェアバージョンで構成してください。 グループ内装置の機種に差分がある場合,収容条件などに差分があるため,ア クセスリストの設定に失敗することがあります。

(4) ファイルパスの最大長

本ツールで扱うファイルについて、そのファイルパスの最大長は、本ツールを 利用するオペレーティングシステムで決まります。そのため、オペレーティン グシステムがサポートしているファイルパスの最大長を越えるようなファイル を指定しないでください。

(5) 装置情報ファイル

装置情報ファイルは AX-Networker's-Utility の他のツールと内容が異なるため, 共用できません。ツール毎に装置情報ファイルの作成および保存を行うように してください。

(6)装置に実装しているネットワークインタフェース機構(NIF)の構成を変更した場合

本ツールの運用中, AX6700S/AX6600S/AX6300S/AX4600S シリーズの装置に対

してネットワークインタフェース機構(NIF)を増設や減設,有効化および無効化(省電力機能による設定も含む)した場合,対象装置のフィルタ情報と本 ツールのフィルタ情報で差異が発生します。その場合には,対象装置または対 象装置を含むグループに対して,[メニュー]-[実行]-[装置情報取得]操作を行っ て,フィルタ情報を最新化してください。

(7) 本ツールの運用中に装置のソフトウェアを更新した場合

本ツールの運用中,装置に対してソフトウェア更新を行った場合,本ツールで 正しくフィルタ操作ができなくなる可能性があります。その場合には,対象装 置または対象装置を含むグループに対して,[メニュー]-[実行]-[装置情報取得] 操作を行って,フィルタ情報を最新化してください。

(8) 本ツールで扱う VLAN 情報

本ツールではグローバルネットワークに所属している VLAN のみ操作できます。

(9) 装置内のアクセスリストの最大数

1 装置のアクセスリストの数は,最大 2000 件です。それより多い件数のアクセ スリストが装置のコンフィグレーションに定義されている場合,本ツールの管 理対象装置として扱うことができません。なお,アクセスリストの件数とは, 以下に示す種別のアクセスリストの件数の合計です。

- ・MAC 条件
- ・IPv4 条件(Standard)
- ・IPv4 条件(Extended)
- ・IPv6 条件

(10) 操作対象のアクセスリスト

本ツールで扱うアクセスリストは1件以上のフロー検出条件を持つ必要があり ます。フロー検出条件を持たないアクセスリストは画面上に表示されません。

1.5 サポート項目

フィルタ情報のサポート項目については、「<u>6 付録</u>」を参照してください。

2. 準備

この章では、フィルタ管理ツールを実行するために必要な事前準備について説 明します。

2.1 フィルタ管理ツールのインストール確認 2.2 フィルタ管理ツールの起動

2.1 フィルタ管理ツールのインストール確認

(1) インストール

AX-Networker's-Utility ユーザーズガイド(インストール編)を参照し, AX-Networker's-Utility をフィルタ管理 PC ヘインストールしてください。

2.2 フィルタ管理ツールの起動

2.2.1 装置の設定を行う

(1) フィルタ管理 PC から対象装置へ, IPv4 ネットワーク的に到 達可能とします

フィルタ管理 PC と対象装置が IP 通信できるように、ネットワーク接続してく ださい。そのためには、対象装置上に IPv4 アドレスを設定します。また、フィ ルタ管理 PC と対象装置の間にスイッチやルータ等のネットワーク装置が存在 する場合、フィルタ管理 PC と対象装置の間で通信可能となるように、それら のネットワーク装置に対してルーティング設定を行います。

(2) フィルタの管理が行えるように、対象装置で設定を行います

ここでは、装置がフィルタ管理ツールから要求を受け付けられるよう、装置側の設定を行います。装置を起動し、装置にログイン後、装置の CLI から次のコマンドを入力します。netconf 機能に関するコマンドの詳細については AX-Networker's-Utility ユーザーズガイド(インストール編)の「5. 付録」を ご確認ください。

>enable

configure

!(config)# hostname <name>…装置の識別名称を設定します(必須)

!(config)# netconf

!(config-netconf)# top

!(config)# save

(config)# exit

<name>…設定可能な値は装置のマニュアル(「コンフィグレーションレファレ ンス」の「SNMP」)を参照してください。

2.2.2 フィルタ管理ツールの初期設定を行う

利用を開始するにあたり、以下の準備、設定を行います。

(1) 利用可能な最大メモリサイズを変更する

本ツールからフロー検出条件数が多い装置に対して設定を行うと、ツールが使 用するメモリ量が利用可能な最大メモリサイズを超える場合があります。対象 の装置のフロー検出条件数が多い場合※1には、下記の手順で本ツールが利用 可能な最大メモリサイズを変更してください。

※1 目安として,装置の1アクセスリスト内のフロー検出条件数が3500件を超える場合が該当します。

[変更手順]

①<TARGETDIR>¥FilterTool¥FilterTool.batをマウスで右クリックし、表示され たポップアップメニューから[編集]を選択します。

<TARGETDIR>…AX-Networker's-Utility インストール先ディレクトリ

デフォルトは C:¥Alaxala¥AX-Networker's-Utility

- ②表示された中身の「set PARAMETERS=<u>-Xmx1024m</u> -jar %JARFILE%」の
 「-Xmx1024m」(上記の下線部)を変更し、上書き保存します。この指定例で
 は、ツールへ割り当てるメモリの量を 1024MB で指定しています。
- ③<TARGETDIR>¥FilterTool¥FilterTool.bat をマウスで右クリックし,表示され たポップアップメニューから[管理者として実行]を選択して本ツールを起動 します。
- ④「<u>3.2 フィルタを管理する</u>」に記載の方法でアクセスリストの設定を行い、 正常に動作するか確認してください。メッセージ「処理中にメモリ不足エラ ーが発生しました。」が表示される場合には、②で指定する -Xmx1024m の 1024 をより大きな値に設定し直して再度確認してください。

2.2.3 フィルタ管理ツールを起動する

ツールを起動するには、以下の操作を行ってください。

エクスプローラから以下のファイル(※1)を右クリックし、表示されたポップ

アップメニューから[管理者として実行]を選択する。

※1····<TARGETDIR>¥FilterTool¥FilterTool.bat

<TARGETDIR>…AX-Networker's-Utility インストール先ディレクトリ

デフォルトは C:¥Alaxala¥AX-Networker's-Utility

ツールを起動すると、以下の画面が表示されます。

図 2-1 ツール起動時の画面

遙 フィルタ管理ツール - (新規)			
ファイル(<u>E</u>) グループ(<u>G</u>)	装置(N) アクセスリスト(A) 実行(E) ヘルプ(出)		
读 进一 覧				
▲ ▼	 古友	197/81.7	Juit2_27	
2014/01/26	14:01:01.163		- アッピーン 「アプリケーションが起動」ました。	

アプリケーションが起動した旨のログメッセージが表示されることを確認して ください。

ツールの起動を確認した後,[ファイル]-[終了]メニューを選択して,一旦ツー ルを終了してください。

3. フィルタ設定

この章では、フィルタ管理ツールの操作方法について説明します。

3.1 装置を登録する

3.2 フィルタを管理する

3.1 装置を登録する

フィルタ管理ツールから装置に対してフィルタ設定を行うには,まず始めに, ツール上で管理対象装置の登録を行います。装置の登録方法には,以下の3通 りの方法があります。

方法1: GUI から登録する(「<u>3.1.1 GUI から登録する</u>」参照)

- 方法2:装置情報ファイルから登録する(「<u>3.1.2 装置情報ファイルから登録</u> <u>する</u>」参照)
- 方法3:装置情報のインポート・エクスポートで登録する(「<u>3.1.3 装置情報</u> のインポート・エクスポート」参照)

フィルタ管理ツールを起動すると、ツール終了前に正常に読み込んだか保存を 行った装置情報ファイルを自動的に読み込み、装置ツリー上に表示します。 なお、GUIからの操作はメニュー、メニューに設定されているキーボードショ ートカット(Ctrl+<u>キー</u>)、ボタンのいずれか任意の方法で行えます。

3.1.1 GUIから登録する

(1) グループを登録する

まず始めに、ツールを起動しグループの登録を行います。ツールの起動方法に ついては、「2.2.3 フィルタ管理ツールを起動する」を参照してください。 グループを登録するには、装置一覧ツリー上で[装置一覧]ノードを選択して、[グ ループ]-[追加]メニューを選択し、[グループ情報設定]画面を開きます。

___ ①[グループ]-[追加]メニューを選択します。 🍝 フィルタ管理ツール - (新規) _ D _X [グループ(G)] 装置(N) アクマスリスト(A) 実行(E) ヘルプ(H) ファイル(F 追加(1)... Ctrl+1 編集(2)... Ctrl+2 削除(3) Ctrl+3 日付 2014/01/26 B寺亥J 14:01:01.163 IPアドレス メッセージ アプリケーションが起動しました。

[グループ情報設定]画面を開いたら、グループ名(1~32文字)を入力し、[OK] ボタンを押下します。

[注意事項]

グループ名として HTML タグやタブ文字を使用しないでください。HTML タグ やタブ文字を使用すると、ツール上で正しく表示されないことがあります。

図 3-2 グループ登録(2)

図 3-1 グループ登録(1)

②グループ名を入力します。 フィルタ管理ツール - グループ情報設定 グループ情報を設定します。グループ名を入力し、〔OK〕ボタンを押してください ・グループ情報設定・ *グループ名 OK キャンセル ③OK ボタンを押下します。 図 3-3 グループ登録(3)

(a) 21 J/2 R + 2	ール - (新規)			
ファイル(F) グルー	-プ(G) 装置(N) アクヤスリ	ノスト(A) 実行(E) ヘルプ(H)		
装 置 → 1 				
	時刻	IPアドレス	メッセージ	

(2) グループ名を変更する/登録したグループを削除する

グループ名の変更を行うには、装置一覧ツリー上でグループを選択して、[グル ープ]-[編集]メニューを選択し、[グループ情報設定]画面を開きます。

[グループ情報設定]画面を開いたら,グループ名(1~32文字)を入力し,[OK] ボタンを押下します。

グループの削除を行うには,装置一覧ツリー上でグループを選択して,[グループ]-[削除]メニューを選択します。

(3) 装置を登録する

グループを登録した後,グループに装置を登録します。 装置を登録するには,装置一覧ツリー上でグループを選択して,[装置]-[追加] メニューを選択し,[装置情報設定]画面を開きます。

図 3-4 装置登録(1)

[装置情報設定]画面を開いたら, IP アドレス(10進ドット記法の IPv4 アドレス),装置名(0~64文字)を入力して,[OK]ボタンを押下します。なお,装置名は入力を省略することができます。

[注意事項]

装置名として HTML タグやタブ文字を使用しないでください。HTML タグやタ ブ文字を使用すると、ツール上で正しく表示されないことがあります。

図 3-5 装置登録(2)

③IP アドレス,装置名を入力します。 ※装置名は入力を省略することができます。

フィルタ管理	ソール - 装置情報設定	x
装置情報を設 だざい。	定します。グループ,IPアドレス,装置名を入力し,(OK)	ボタンを押してく
「装置情報設定	2	
*グループ	ガループA	
装置名		
*IPアドレス		
	ОК	キャンセル
	•	

④OK ボタンを押下します。

図 3-6 装置登録(3)

⑤装置一覧ツリーに装置が追加されます。

I				
遙 フィルタ管理ツール - ((新規)			
ファイル(E) グループ <u>G</u>)	装置(N) アクセスリスト(A)) 実行(E) ヘルプ(L)		
コート(10日) 日一日 日日 日日 日日 日日 日日 日日 日日 日日 日		(((((((((((((((((((
4 +				
	8-5-5-1	ר.ואקסז	1-4-5	
0011/01/08	******	17712		
2014/01/20	14:01:01:103		アプリケーンヨンが短期のCROCS。 グローマなどetral キール	
2014/01/26	14-04-00 736	192 168 0 1	アル・アンE/BUOS CCS 注要を追加しました。	
	1.101.001.00	100.100.0.1	product common over or o	

(4) 装置情報を変更する/登録した装置を削除する

装置情報の変更を行うには,装置一覧ツリー上で装置を選択して,[装置]-[編集] メニューを選択し,[装置情報設定]画面を開きます。[装置情報設定]画面を開い たら,必要な情報を入力し,[OK]ボタンを押下します。

装置の削除を行うには,装置一覧ツリー上で装置を選択して,[装置]-[削除]メ ニューを選択します。

3.1.2 装置情報ファイルから登録する

グループや装置は、グループや装置の情報を定義した装置情報ファイルを、フ ィルタ管理ツールから読み込んで登録することもできます。

(1) 装置情報ファイル

装置情報ファイルは,[ファイル]-[名前を付けて保存],または,[ファイル]-[上 書き保存]メニューを実行した際に保存される,ツール上のグループ,および, 装置の情報を記録したファイルです。ツールから保存した装置情報ファイルは, [ファイル]-[開く]メニューから,再びツール上に読み込むことができます。 装置情報ファイルのフォーマットは CSV 形式のテキストファイルです。従って, テキストエディタやスプレッドシートアプリケーションを利用して作成するこ ともできます。装置情報ファイルについては,「<u>4.2 ツールの装置情報ファイ</u> ル」を参照してください。

(2) 作成した装置情報ファイルを読み込む

作成したファイルをツールに読み込むには, [ファイル]-[開く]メニューを選択 し, ファイル選択画面を開きます。

図 3-7 装置情報ファイルの読み込み(1)

🔬 フィルタ管理ツー	-ル - (新規)			
ファイル(F) グルー	プ(G) 装置(N) アクt スリ	スト(A) 実行(E) ヘルプ(H)		
新規作成(N)	Ctrl+N			
閒<(0)	Ctrl+O			
上書き保存(S)	Ctrl+S			
名前を付けて係	杲存(W) Ctrl+W			
共通フォーマッ	ע Ի(F) →			
終了(Q)	Ctrl+Q			
日付	8寺亥1	IPアドレス	メッセージ	
			In the second seco	

ファイル選択画面を開いたら,作成した装置情報ファイルを選択し,[開く]ボ タンを押下します。 図 3-8 装置情報ファイルの読み込み(2)

開<		x
ファイルの場所(1):	🚰 ローカル ディスク (C:) 🔹 🏓 🛄 -	
最近使-5た項 目	Alaxala Alaxala PerfLogs Program Files Mindows	
デスクトップ	 ユーザー 	
۲1 FF1 אינאנא איז	②作成したファイルを選択します。	
(1) 1)/21-9-	③[開く]ボタンを押下します	o
く ネットワーク	ファイル名(N): 装置情報csv ファイルのタイプ(I): 装置情報ファイル(*csv)	

図 3-9 装置情報ファイルの読み込み(3)

→ ④ファイルの内容がツール上に反映されます。

ঌ フィルタ管理ツー	・ル - C:¥装置情報.csv			
ファイル(<u>E)</u> ブルー	プ(<u>G</u>) 装置(<u>N</u>) アクセスリ	リスト(<u>A</u>) 実行(E) ヘルプ(∐)		
は第一覧 → グリーブA → 192.168.0.1 → 192.168.0.2 → 192.168.0.2 → 192.168.0.2 → 192.168.0.2 → 192.168.0.2 → 192.168.1 → 192.168.3 → 192.168.3.2 → 192.168.3.2	(注意:1 (注意:2 (注意:4) (注意:1 (注意:1 (注意:1			
< · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	▶ 時 刻	IP7ドレス	yyt2-57 ⊐====================================	
2014/01/26	14:06:49.876		アプリケーションが起動しました。	
014/01/20				
3.1.3 装置情報のインポート・エクスポート

本ツールに登録したグループや装置の情報は、共通フォーマットファイルを介して、 AX-Networker's-Utilityの他ツールと相互にエクスポート・インポートすることがで きます。つまり、本ツールに登録したグループや装置の情報をAX-Networker's-Utility の他ツール用にエクスポート、および AX-Networker's-Utility の他ツールへ登録した グループや装置の情報を本ツールへインポートできます。

(1) 共通フォーマットファイル

装置情報をインポートすることができます。

共通フォーマットファイルは、本ツールへ登録した装置情報を AX-Networker's-Utilityの他ツール用にエクスポート、またはAX-Networker's-Utility の他ツールへ登録した装置情報を本ツールへインポートするためのファイルです。 [ファイル]-[共通フォーマット]-[エクスポート...]メニューを選択することで、共通 フォーマットファイル形式で装置情報をエクスポートし、[ファイル]-[共通フォーマ ット]-[インポート...]メニューを選択することで、共通フォーマットファイル形式で

共通フォーマットファイルのフォーマットは CSV 形式のテキストファイルです。 従って、テキストエディタやスプレッドシートアプリケーションを利用して作成す ることもできますが、ツールの共通フォーマットファイルのエクスポートで作成す ることをおすすめします。エクスポート後、必要に応じて、エクスポートした共通 フォーマットファイルをテキストエディタやスプレッドシートアプリケーション で修正することが可能です。

AX-Networker's-Utilityの他ツールでエクスポートした共通フォーマットファイルか ら本ツールへのインポートを行う際,共通フォーマットファイルに本ツールでの必 須指定項目が指定されていない場合には,その指定されていない項目をテキストエ ディタやスプレッドシートアプリケーションで追加してからインポートを行って ください。

共通フォーマットファイルの項目と本ツールでの指定値を次表に示します。

項目	指定値
グループ名	グループ名を1~32文字で指定します。
	必須指定項目です。

表 3-1 共通フォーマットファイルの項目と本ツールでの指定値

チェックボックスのチェッ ク状態	本ツールでは利用しません。					
IP アドレス	IP アドレスを 10 進ドット記法の IPv4 アドレスで 指定します。					
装置名	装置名を 0~64 文字で指定します。 任意指定項目です。					
場所	本ツールでは利用しません。					
ソフトウェア更新機能アカ ウント	本ツールでは利用しません。					
ソフトウェア更新機能パス ワード	本ツールでは利用しません。					
Web 認証画面入れ替え機能 アカウント	本ツールでは利用しません。					
Web 認証画面入れ替え機能 パスワード	本ツールでは利用しません。					
メール通知制限	本ツールでは利用しません。					
装置モデル	本ツールでは利用しません。					
省電力モード	本ツールでは利用しません。					
電力制御設定	本ツールでは利用しません。					
NIF ボード情報	本ツールでは利用しません。					
NIF ボード LED 動作	本ツールでは利用しません。					
スイッチングユニット設定	本ツールでは利用しません。					
スイッチングユニットの枚 数設定	本ツールでは利用しません。					
待機系スイッチングユニッ トの給電設定	本ツールでは利用しません。					
スイッチ種別	本ツールでは利用しません。					
アカウント更新時刻	本ツールでは利用しません。					
Web 認証証明書有効期限	本ツールでは利用しません。					
Web 認証証明書確認時刻	本ツールでは利用しません。					
前回アップロード時に選択 した証明書のファイルパス	本ツールでは利用しません。					
前回アップロード時に選択 した秘密鍵のファイルパス	本ツールでは利用しません。					
前回アップロード時に選択 した中間 CA 証明書のファ イルパス	本ツールでは利用しません。					

[注意事項]

- ・表 3-1 共通フォーマットファイルの項目と本ツールの指定値で,[指定値]列が「本 ツールでは利用しません。」になっている項目も, CSV フォーマットとしての列 は必要ですので省略しないでください。
- AX-Networker's-Utilityの他ツールでエクスポートした共通フォーマットファイル をインポートする際,表 3-1 共通フォーマットファイルの項目と本ツールの指定 値で,[指定値]列に「必須指定項目です。」がある項目は、インポートの前にエ ディタやスプレッドシートアプリケーションを利用し、インポート対象の共通フ ォーマットファイルへその項目の指定値を追加してください。
- ・共通フォーマットファイルをスプレッドシートアプリケーションで編集する場合
 は、各フィールドの値(例:グループ名や装置名)に「"」(ダブルクォート)
 や「、」(カンマ)を使用しないでください。

グループ名や装置名等に「"」(ダブルクォート)や「,」(カンマ)を使用する と、ツールから共通フォーマットファイルをインポートした際に、グループ名や 装置名等が正しく表示されない、または、共通フォーマットファイルのインポー トに失敗する場合があります。

・各フィールドの値として HTML タグやタブ文字を使用しないでください。HTML タグやタブ文字を使用すると、ツール上で正しく表示されない場合があります。

(2) 装置情報を共通フォーマットファイルヘエクスポートする

ツールへ登録した装置情報を共通フォーマットファイルへエクスポートするには, [ファイル]-[共通フォーマット]-[エクスポート...]メニューを選択し,ファイル選択 画面を開きます。

図 3-10 装置情報のエクスポート(1)

2 7イルタ管理ツール -	C:¥装置情報.csv			
ファイル(F)] グループ(G]) 装置(N) アクセスリ	スト(A) 実行(E) ヘルプ(H)		
新規作成(N)	Ctrl+N			
開<(0)	Ctrl+O			
上書き保存(S)	Ctrl+S			
名前を付けて保存(V	/) Ctrl+W			
共通フォーマット(F) + -	インポート(0) Ctrl+0		
終了(Q)	Ctrl+Q :	ェクスポート(Y) Ctrl+Y		
101 160 1 984A		.,		
 グループC				
──● 192 168 3 1(装置	1			
● 192.168.3.2(装置	2			
m ,				
in the second se	- 	IP7F12	メッセージ	

ファイル選択画面が表示されたら,エクスポート先の共通フォーマットファイルの 名前を指定し, 〔保存〕ボタンを押します。 図 3-11 装置情報のエクスポート(2)

峰 保存		x
保存	🏝 🖆 🚽 🕹 🔁 🖽 🔹	
最近使った項 目	 Alaxala PerfLogs Program Files Windows 	
デスクトップ	 ▶ ユーザー 	
<u>الرادة المجمع المجمع المجمع المجمع المحمد المحم </u>	②エクスポート先ファイルを指定します。	
געב בשעב	③[保存]ボタンを押下します	F.
(ネットワーク	ファイル名(1): 装置情報エクスポートcsv 【保存(5) ファイルのタイプ(1): インポート/エクスポートファイル(*csv) ▼	9 1

装置情報のエクスポートが成功すると、エクスポート成功のメッセージが表示され ます。

図 3-12 装置情報のエクスポート(3)

ファイル(F) グループ(G) 装置(N) アクセスリスト(A) 実行(E) ヘルフ 気荷一覧 ● 192.168.0.1(装置 1) ● 192.168.0.1(装置 1) ● 192.168.0.3(装置 2) ● 192.168.0.3(装置 2) ● 192.168.0.3(装置 2) ● 192.168.0.3(装置 2) ● 192.168.0.3(装置 2) ● 192.168.1(装置 1) ● 192.168.1(装置 1) ● 192.168.1(装置 2) ● 192.168.3.2(装置 2) ● 192.168.3.2(装置 2) ● 192.168.3.2(装置 2)	Ź(H)
★選 → 覧 → 192.168.0.1(装置 1 → 192.168.0.1(装置 2 → 192.168.0.3(装置 2 → 192.168.0.3(装置 2 → 192.168.1.1(装置 1 → 192.168.1.1(装置 1 → 192.168.3.1(装置 1 → 192.168.3.3(装置 2 → 192.168.3.2(装置 2 → 192.168.3.2(装置 2)	
日付 時刻 10781.2	
2014/01/26 14:06:49:876	「アプリケーションの走ら取しました。
2014/01/26 14:08:14.109	

④「装置情報をエクスポートしました。」が表示されます。

(3) 装置情報を共通フォーマットファイルからインポートする

共通フォーマットファイルから装置情報をインポートするには,[ファイル]-[共通フ ォーマット]-[インポート...]メニューを選択し,ファイル選択画面を開きます。

図 3-13 装置情報のインポート(1)

ノイルタ管理ツ・	ール - (新規)			
ファイル(F) グルー	-プ(G) 装置(N) アクセスリ	スト(A) 実行(E) ヘルプ(H)		
新規作成(N)	Ctrl+N			
開<(0)	Ctrl+O			
上書き保存(S) Ctrl+S			
名前を付けて	保存(W) Ctrl+W			
共通フォーマ	ット(F) ・ -	インポート(0) Ctrl+0		
終了(Q)	Ctrl+Q =	Eクスポート(Y) Ctrl+Y		
-				
, 3付	時刻	IPアドレス	メッセージ	

ファイル選択画面が表示されたら,インポート元の共通フォーマットファイルの名 前を指定し, 〔開く〕ボタンを押します。

図 3-14 装置情報のインポート(2)

開<	×
ファイルの場所(1)	🚰 🖆 🚽 🗇 💭 🐨 🐨 🕹
最近使-5た項 目	Alaxala PerfLogs Program Files Windows
デスクトップ デスクトップ マイ ドキュメント	<u>ユーザー</u>
אי א-פ-בשעב	③[開く]ボタンを押下します。
(ネットワーク	ファイル名(い): 装置情報インボートcsv 開(の) ファイルのタイプ(1): インボート/エクスボートファイル(*csv) 取消

装置情報のインポートが成功すると、装置一覧ツリーが更新され、インポート成功 のメッセージが表示されます。

図 3-15 装置情報のインポート(3)

	(新規)			
ァイル(E) ガル <mark>ープ(</mark> G	、 装置(<u>N</u>) アクセスリス	くト(A) 実行(E) ヘルプ(日)		
 〒192.168.0.1(装置 ● 192.168.0.2(装置 ● 192.168.0.2(装置 ● 192.168.0.3(装置 ● 192.168.0.3(装置 ● 192.168.1.1(装置 ● 192.168.1.1(装置 ● グループ ● グループ ● 192.168.1.1(装置 ● ブループ ● 192.168.3.1(装置 ● 192.168.3.2(装置 				
	時刻	IP7 ドレス	 	

⑤「装置情報をインポートしました。」が表示されます。

3.2 フィルタを管理する

この節では、フィルタ管理ツールでフィルタの設定を行う方法について説明します。

フィルタを管理するには、「<u>3.2.1 フィルタを取得する</u>」、「<u>3.2.2 フィルタを</u> <u>設定する</u>」の手順を実施します。以下、この順序に従い、説明します。

3.2.1 フィルタを取得する

フィルタの管理は、グループ単位に行います。

フィルタ設定を行うには、まず装置情報(機種やアクセスリスト)の取得を行い ます。装置情報の取得を行うには、装置一覧ツリー上でグループを選択し、[実 行]-[装置情報取得]メニューを選択、もしくは装置一覧ツリー上のグループをマ ウスで右クリックして、表示されたポップアップメニューから[装置情報取得] を選択します。

図 3-16 フィルタを取得する(1)

 ①グループを 	を選択します。	②[実行] す。]-[装置情報取得]メニューを押下しま	
	:¥装置情報.csv			
ファイル F) グループ(G)	装置(N) アクセスリスト(A)	[実行(E)] ヘルプ(H)		
 第一覧 101-7A 101-7A 101-60.02(2) 102.168.02(2) 102.168.02(2) 102.168.1(2) 102.168.1(2)		装置情報取得(R) スタートアップコンフィ アクセスリストの反映(P)	Ctrl+R グへ反映(U) Ctrl+U) Ctrl+P	
•				
日付	時刻	IPアドレス	メッセージ	
2014/01/26	14:10:30.111		アプリケーションが起動しました。	
2014/01/20	14:10:30.144		_/ア1740場での2007年1月16月19日で、	

[実行確認]画面を開いたら、〔はい〕ボタンを押下します。

図 3-17 フィルタを取得する(2)



③〔はい〕ボタンを押下します。

装置一覧ツリー上にアクセスリストの一覧が表示されます。アクセスリストを ダブルクリックすると、アクセスリスト情報が参照できます。

その際グループ内装置一覧では、グループ内の装置すべてが対象アクセスリス トを保持しているかにかかわらず、表示されます。

また,装置情報取得が行われると,[実行]-[アクセスリストの反映]が実施可能 になります。

図 3-18 フィルタを取得する(3)

⑤装置モデルや指定したアクセスリスト のインタフェース適用状況を確認します。



[注意事項]

 ・グループ内装置にフロー検出条件において差分があった場合、ツールでは 対象の行を黄色で表示します。この状態で[アクセスリストの反映]操作を行 うと、表示されている内容で上書きを行うため、問題ないことを確認の上、 [アクセスリストの反映]操作を実施してください。 ・グループ内装置にフロー検出条件においてツールで未サポートの条件が装置に設定されている場合、対象の行をピンク色で表示します。この状態で [アクセスリストの反映]操作を行うと、対象の行は装置へ設定しません。
 本ツールでサポートしている条件については、「6 付録」を参照してください。

図 3-19	フィルタを取得する	(4)
	ノイルノビル(すりの)	\ - /

🎒 フィルタ管理ツール - (▲ フィルク管理ツール - C:¥装置情報.csv														
ファイル(E) グループ(<u>G</u>)	装置(№) アクセ	スリスト(<u>A)</u> 実行(<u>E</u>)	ヘルプ(<u>H</u>)										
装置一覧	Acce	essList1 🕱													
	(グ) 2) フロ 1) グ, ア	グループ名 IPアドレス: 192.1680.1 フロー種別: Layer3-Extended 補足説明: GroupA_Filter_10 グループの決議画目 フルセコリンを注意目目ススを思わしたか													
● 192.168.1.1(装置1		謂名	IP	アドレス	装置モデル		ボー	と「「「「」」	VLAN情報	設定I/F	中約	種別	MACモード	ステータン	ξ
	装	置1	192	2.168.0.1	AX3630S-2	4T2X	0/8			in	なし		なし	装置情報	
⊡ → グループD → 100 100 0 1/3+ ■ 100 100 0 1/3+ ■ 100 0 1/3+ ■ 100 100 0 1/3+ ■ 100 0 100 0 1/3+ ■ 100 0 100 0 1/3+ ■ 100 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	装装	置2	192	2.168.0.2	AX3630S-2	4T								装置情報	取得終了… ▼
● 192.168.3.2(装置2													追加	編集	削除
		க	(4												
		U-1児品来 フロー接山	117一見 冬姓/072613	レシート	**										
			未1寸い睡品	CEXTER 110	10-20										
		/U=19.00	æittg. ∘												
	シ祖	バーケンス 計号	アクション	送信元 IPv4アドレ	送信元 ワイルドカード	宛无 IPv47	ドレ	宛先 ワイルドカー	VLAN 番号	フロトコル 番号 to	s値	送信元 ポート番	·号 ポート番	ack フラグ	syn フラグ
		20) 許可	1.1.1.0	0.0.0.255	any				ip				off	off
		31	11401							() etc		(E)#	18-1	inff 7/8/#	Inff *
										10川		編果.		八編果	
<														PD	KUK NUK 🦷
	0-5-211			ר ויא קומ			- Louile	a. 2"							
2014/01/26	04780 14:31:25	9.749		192.168.0.2			- シッ し 装直	2 ーン 192.168.0.2(袋	電力に対す	\$ 3.550面1骨₹限月X(守	か止き	読行しま	:U/co		
2014/01/26	14:32:2	1.831		192.168.0.1			装置	192.168.0.1(3	置1) に対す	5装置情報取得	が正常	総了しま	した。		
2014/01/26	14:32:48	3.220		192.168.0.3			装置	192.168.0.3(装	置3) に対す	5装置情報取得	が正常	総了しま	した。		
2014/01/26	14:32:48	4:32:48:235 クループ クループ A に対する装置情報取得が正常終了しました。													

3.2.2 フィルタを設定する

フィルタの設定を実行するには、「(<u>1</u>) フィルタを作成する」、「(<u>2</u>) フィルタ を適用するインタフェースを設定する」、「(<u>3</u>) フロー検出条件を設定する」、 「(<u>4</u>) フィルタを編集する」、「(<u>5</u>) フィルタを装置に反映する」、「(<u>6</u>) ラン ニングコンフィグをスタートアップコンフィグに反映する」の手順を実施しま す。以下、この順序に従い、説明します。

(1) フィルタを作成する

「<u>3.2.1 フィルタを取得する</u>」で装置から取得したフィルタを編集するのではな く、装置へフィルタを新規に作成したい場合には、ここで説明する手順を実施 してください。[装置一覧]ツリー上から装置を選択した状態で、[アクセスリス ト]-[追加...]メニューを選択、もしくは[装置一覧]ツリー上の装置をマウスで右 クリックして表示されるポップアップメニューから[アクセスリスト追加...]を 選択すると、[フロー検出条件設定]画面が表示されます。この画面では、作成 したいアクセスリストの情報、およびそのアクセスリストに設定されるフロー 検出条件を入力します。入力後、内容に問題ないことを確認した際に、[OK]ボ タンを押下してください。

図 3-20 フィルタを設定する(1)

②[アクセスリスト]-[追加…]メニューを 押下します。

🏼 フィルタ管 ジール - 0	C:¥装 <mark>alifi¥ki.csv</mark>		
ファイル(F) ク <mark>ループ(</mark> G)	装置 N) アクセスリスト(A) 実行(E) ヘルプ(H)	
装置	追加(D)… 編集(T)…	Ctrl+D Ctrl+T	
- ● 192.168.1.2(装置2 - 〕 グループC ロー 〕 グループD - ● 192.168.3.1(装置1			
● 192.168.3.2(装置2	2		
< +			
日付	時刻	IPアドレス	メッセージ
2014/01/26	14:31:29.749	192.168.0.2	装直 192.108.0.2(装直2)に対する装直)情報収得加止市終了しました。
2014/01/26	14:32:21.831	192.168.0.1	装置 192.168.0.1(装置1)に対する装置情報取得が正常終了しました。
2014/01/26	14:32:48.220	192,168.0.3	装置 192.168.0.3(装置3)に対する装置情報取得が正常終了しました。
2014/01/26	14:32:48.235	/	ブループ グループA に対する装置情報取得が正常終了しました。

①装置を選択します。

図 3-21 フィルタを設定する(2)

フィルタ管理ツール - フ	口一検出条件設定			x	
アクセスリスト、フロー検出条	件を設定します。				
- アクセスリスト設定					の1 も然 由索に明瞭ぶ
※アクセスリスト名:	AccessList2				③八刀後、内谷に问題が
補足説明:	GroupA_Filter_20				ないことを確認します。
-70-検出条件設定──					
※シーケンス番号:	1				
※アクション:	許可 🔻				
※送信元IPv4アドレス:	2.2.2.0	~ [
送信元ワイルドカード:	0.0.0.255				
※宛先IPv4アドレス:	0.0.0.0	~ [
宛先ワイルドカード:	255.255.255.255				
VLAN番号:					
※ブロトコル番号:	ip 👻				
tos値:					
送信元ポート番号:		~ [
宛先术		~ [
ackフラグ:	off 👻				
synフラグ:	off 👻				
※:必須選択項目			ОК + +>セル		

④[OK]ボタンを押下します。

作成したアクセスリストが,[装置一覧]ツリー上で選択した装置に追加されて いることを確認します。

図 3-22 フィルタを設定する(3)

⑤設定内容が表示されていることを確認します。

	T												
🎒 フィルタ管理ツール - (C:¥装置情報.csv												. • ×
ファイル(<u>E</u>) グループ(<u>G</u>)	装置(N) アクセン	スリスト(/	<u>A)</u> 実行(<u>E</u>)	へ,µプ(<u>H</u>)									
	Access List2 X 1 2 グループ名: グ 7ロー種別: La 3 グループ内装む	ループA ayer3-Exte 置一覧	IPアドi ended 補	レス: 192.168.0. 定説明: Group	I A_Filter_20								
⊞- <u>→</u> 192.168.0.4(装置) □-→B ガループB	4 アクセスリストキ	適用する	表置およびイン	タフェースの確認	と設定を行い	ます。							
● 192.168.1.1(装置	1 装置名	IP;	アドレス	装置モデル	ボー	卜情報	VLAN情報	設定I/F	中維	重別 MA	40モード	ステータス	
● 192.168.1.2(装置	2 装置1	192	2.168.0.1	AX3630S-2	4T2X							装置情報取	得終了 🔺
ブループC	装置2	192	2.168.0.2	AX3630S-2	\$T							装置情報取	得終了… 👻
	- フロー検出条(- フロー検出。 - フロー検出。 - フロー検出。	牛一覧 &件の確認 &件数: 1	と設定を行い	ます。									
	シーケンス 番号	アクション	送信元 IPv4アドレス	送信元 ワイルドカード	宛先 IPv4アドレ	宛先 ス ワイルドカード	VLAN 番号	ブロトコル 番号	tos値	送信元 ポート番号	宛先 ポート番	ack テラグ	syn フラグ
	1	許可	2.2.2.0	0.0.0.255	any		1	ip				off	off
								l		編集	Ľ-l	て編集	削除
< <u> </u>												<u> </u>	にしていたいしていたい。
日付	時刻		IPアドレス		39	2-9							
2014/01/26	14:32:21.831		192.168.0.1		装直	192.168.0.1(%	直りに刈りる	し、実面「香華限月火」	守刀止市街	たらしました。			
2014/01/26	14:32:48.220		192.168.0.3		装置	: 192.168.0.3(装)	査3) (こ対する ☆*オネは実り	装置情報取得	守が止常約 ★ 約221日	∛了しました。 ы ね			
2014/01/20 2014/01/26	14:32:48.235				クル・ マカł	- ノ クルーノ台 し 27日2 h友:自由日。	×19の装置1 ました。	育業限用的特別加上	ការះៅ	FU/20			
2010/01/20	14.00.21.030				120		or Uricio						

作成したアクセスリストをインタフェースに適用する,またはそのアクセスリ ストのフロー検出条件を追加/編集/削除するには,[装置一覧]ツリー上の作 成したアクセスリストをダブルクリックして,アクセスリストの情報を表示し てください。その後,「(2)フィルタを適用するインタフェースを設定する」 または「(3)フロー検出条件を設定する」で説明されている手順を実施します。

(2) フィルタを適用するインタフェースを設定する

グループ内装置一覧から装置を選択し,[編集...]ボタンを押下すると,[アクセ スリスト適用インタフェース設定]画面が表示されます。アクセスリストを設定 したいインタフェース情報をポート情報設定もしくは VLAN 情報設定から選 択し,その他の設定を行い,内容に問題ないことを確認後,[OK]ボタンを押下 します。

グループ内装置一覧に設定した情報が表示されていることを確認します。

図 3-23 フィルタを設定する(4)

🎒 フィルタ管理ツール - (C:¥装置情報.csv					
ファイル(<u>E</u>) グループ(<u>G</u>)	装置(<u>N</u>) アクセスリスト	(A) 実行(E) ヘルプ(H)				
装置一覧	AccessList1 🕱					
 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 グループ名: グループA ブロー種別: Layer3-Ex グループ内装置一覧 アクセスリストを適用する 	IPアドレス: 192.168.0. tended 補足説明: Group 装置わよびインタフェースの確認	1 oA_Filter_10 と設定本行います。	1	対象の数	麦置を選択します。
● 192.168.1.1(装置)	装置名 I	Pアドレス 装置モデル	ポード情報	VLAN情報	設定I/F 中維種別	MACモード ステータス
	装置1 1	92.168.0.1 AX3630S-2	4T2X 0/8	CONTRACTA	in なし	なし 装置情報取得終了… 🔺
	液直2 1	12.108.0.2 AX30303-2	41 4T			
● 192.168.3.1(装置 ● 192.168.3.2(装置)						追加 編集
	フロー検出条件一覧 フロー検出条件の確 フロー検出条件数:	辺と設定を行います。 1		(2)[編集]ボ	タンを押下します。
	シーケンス 番号 アクション	, 送信元 送信元 ' IPv4アドレス ワイルドカード	宛先 宛先 IPv4アドレス ワイルドカー	VLAN グラ -ド番号 番	INDI/ tos値 ポ	信元 宛先 ack syn ート番号 ポート番号 フラグ フラグ
	10許可	1.1.1.0 0.0.0.255	any	ip		off off
					追加	集 コピーして編集 削除
< Þ						アクセスリストの反映
日付	時刻	IPアドレス	メッセージ			
2014/01/26	14:35:27.893		アクセスリストを2回川			1台山を供え西部1 ま1 5. A
2014/01/26	14:30:20.027	192,168.0.1	ジルーノ グルーノA 装置 192,168.0.10	- のアクセスリスト Aci 装置 1) に対する装置	cesslist に対する川。 置情報取得を開始します	「快出来汁を更新しました。
2014/01/26	14:38:04.916	192.168.0.1	装置 192.168.0.1(装置1) に対する装置	置情報取得が正常終了	Uzlut

図 3-24 フィルタを設定する(5)

フィルタ管理ツール - フ	アクセスリスト適用	インタフェース	設定				X
		###P(= ヘノッナ の=の	·				
アクセスリストを適用する装	直および1ンタノエース	1香辛酸に ついて (の言葉	(走を打します。				
~装置情報設定							
※装置名: 法置1							
※IPアドレス: 192.168.0	0.1			T			
┌ポート情報設定 ─────	4	追加]ボタ	ンを押1	「します。			
装置内ボート一覧	Ī		1	*/~*	春報設定		
スイッチ番号 NIF番号	+ ポート番号	LA番号		スイッチ番号	NIF番号	ポート番号	LA番号
- 0	2	-	追加	-	0	8	-
- 0	3	-	月卯床				
- 0	5						
			·				
装置内VLAN一覧	3対象の	ポートをi	選択 しま	<u>す。 VLANI</u>	春報設定		
VLAN番号	VLAN名			VLAN番号		VLAN名	
1	VLAN0001		追加				
20	VLAN0010 VLAN0020						
30	VLAN0030						
139	MI ANIII39						
2018の設定 ※設定かゆつまた?・	lin	_					
Maxien John A.							
中維種別:		T					
масғ-к:	なし	v					
※:必須選択項目						ОК	キャンセル

図 3-25 フィルタを設定する(6)

※装置名:									
	[注册]								
	A SUBL 1					1			*
※IPアドレス:	192.168.0.1				Ŧ				
ポート情報語致	Ê								
装置内	ワポート━_覧				_	ポード	春報設定		
スイッチ番号	NIF番号	ポート番号	LA番号		2	イッチ番号	NIF番号	ポート番号	LA番号
-	0	7		_ ^ Li	加 -		0	8	-
-	0	9		(ji	除二		0	10	-
-	0	12	-	-					
-	0	13		-					
	JVLAN一覧	VI AN名			Īv	VLAN IAN番号	情報短短 正	VIAN名	
VLAN番号						LAN留方		VLAN-2	
1		VLH140001							
1 10		IVLAN0010			PJT				
1 10 20		VLAN0010 VLAN0020							
1 10 20 30		VLAN0010 VLAN0020 VLAN0030							
1 10 20 30 39		VLAN0010 VLAN0020 VLAN0030 VLAN0039							
1 10 20 30 39 その他の設定		VLAN0010 VLAN0020 VLAN0030 VLAN0039							
1 10 20 30 39 その他の設定 ※設定インタン	71-7: [i	VLAN0010 VLAN0020 VLAN0030 VLAN0039		- ↓					
1 10 20 30 30 39 その他の設定 ※設定インタン 中継種別:	יד-א: [i	VLANUU10 VLAN0020 VLAN0030 V/LAN0039							

⑤[OK]ボタンを押下します。

(3) フロー検出条件を設定する

フロー検出条件一覧から,[追加...]ボタンを押下すると,[フロー検出条件設定] 画面が表示されます。フィルタ検出を行う条件を入力または選択し,内容に問 題ないことを確認後,[OK]ボタンを押下します。

List1 Filter_10	•			 内容に 確認し 	問題がないこ ます。
Filter_10	•			催認し	ます。
	•				
	•				
	•				
	~				
i					
	~				
	•				
	•				
	.				
	-				
	-				
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	~	~	

を

図 3-26 フィルタを設定する(7)

設定した情報がグループ内装置一覧およびフロー検出条件一覧に表示されてい ることを確認します。

図 3-27 フィルタを設定する(8)

③設定内容が表示されてい ることを確認します。

(4) フィルタを編集する

装置から取得,または新規に作成したフィルタの情報(補足説明)を編集した い場合には,ここで説明する手順を実施してください。[装置一覧]ツリー上か らアクセスリストを選択した状態で,[アクセスリスト]-[編集...]メニューを選 択,もしくは[装置一覧]ツリー上のアクセスリストをマウスで右クリックして 表示されるポップアップメニューから[アクセスリスト編集...]を選択すると, [フロー検出条件設定]画面が表示されます。この画面では,補足説明を編集し ます。編集後,内容に問題ないことを確認した際に,[OK]ボタンを押下してく ださい。

図 3-28 フィルタを設定する(9)① アクセスリストを選択します。

②[アクセスリスト]-[編集...]メニューを 押下します。

					T								
🔬 フィルタ管 エツール - (:¥装置情報.csv											- 0	x
ファイル(F) グループ(G)	装置(N) アクセン	スリスト(A) [実	紆(E) ヘルプ(H)										
	Acces 2 編 グル フロー 登別: La グルーフ内装む アクセスリスト校	加(D) Ctrl- 集(T) Ctrl- ルーフロ ayer3-Extended 置一覧 遠通用する装置お	-D -T -T - オアドレス: 192,1000 補足説明: Groo よびインタフェースの確調	J.T upA_Filto 忍と設定	er_10 を行います	<i>t</i> .							
● 192.168.1.1(装置1	花黒々	IPTSLO	装置モディ	I.	ポート	未去品	1/1 ムトパ表表品	IA 定T/F	中特地的	MACEHS	フテータフ		
● 192.108.1.2(装置2	花澤1	192 168 0	1 AV3630S-	24T9X	0/80/1	#+18 A	Y CITIN (A + 18	in	11001110111	tol.	た実体調	即组织了	- I I
ブD	装置2	192.168.0	2 AX3630S-	24T230	0,0,0,1				100		装置情報	取得終了。	<u> 1</u> 21
● 192.168.3.1(装置1	4+ 00 o	400 400 0	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	~ · T	1						N+ 00.4++01	Bac B (A	프
● 192.168.3.2(装置2										追加		」	<u> </u>
	フロー検出条(フロー検出部 フロー検出部	牛一覧 粂件の確認と設筑 粂件数: 2	目を行います。										
	シーケンス 番号	アクション 送信 IPv4	元 送信元 アドレ ワイルドカード	宛先 IPv47	ダ アドレ ワ	記先 フイルドカー	VLAN 5 番号 者	で 行ったコル 記号 to	s値 送信元 ポート番	宛先 号 ポート番	ack フラグ	syn フラグ	
	10	a十回 にしい 注意可 2,220	0.0.0.200	añy		-	IP IP				off	off	
		91-1 E-E-E-A	0.0.0.200	uny			1	追力	□ 編集) []Ľ-	して編集] []]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]	
4 <u> </u>											アクセン	<u>ህጋ</u> トの反	映
日付	時刻	IP77	ドレス		メッセー	-9							
2014/01/26	14:40:33.058				シルーノ	ジルーフィ	のアクセスリスト	AccessList I (、刈りるノロー傾	出余任の更新	をキャンゼル	しました。	
2014/01/26	14:40:52.871				グループ	グループA	のアクセスリスト	AccessList1 (こ対するフロー検	出条件を更新	しました。		
2014/01/26	14:41:05.442				グループ	グループA	のアクセスリスト	AccessList1 (こ対するフロー検	出条件を更新	しました。		
2014/01/26	14:41:34.778				211-7	シループA	のアクセスリスト	AccessList1 (これする7日一横	出余件を更新	しました。		-

図 3-29 フィルタを設定する(10)

フィルタ管理ツール - フ	口一検出条件設定	×	
アクセスリスト,フロー検出条(牛を設定します。		
「アクセスリスト設定			
※アクセスリスト名:	AccessList1		
補足説明:	GroupA_Filter_10_a		③入力後、内容に問題が
7日-検出条件設定			ないことを確認します。
※シーケンス番号:			
※アクション:	Ē午 可		
※送信元IPv4アドレス:	~		
送信元ワイルドカード:			
※宛先IPv4アドレス:	~		
宛先ワイルドカード:			
VLAN番号:			
※プロトコル番号:	•		
tos值:	•		
送信元ポート番号:	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	-	
宛先术-卜番号:	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	-	
ackフラグ:	off 🔹		
synフラグ:	off 🚽		
※:必須選択項目	OK キャンセル		

④[OK]ボタンを押下します。

編集したアクセスリストの補足説明が、[装置一覧]ツリー上のアクセスリスト, およびアクセスリストタブに反映されていることを確認します。

図 3-30 フィルタを設定する(11)

⑤設定内容が表示されていることを確認します。

3 ライルラビュン 70 ファイル(E) グループ(G)) 装置(<u>N</u>) アクセス	(リスト(<u>A</u>) 実行(<u>E</u>)) ヘルプ(且)							
2 一覧 → グループA → 100 160 01 (35 00 1(35 20 152,1000 2 2000 → 192,168,0 3(35 20 → 192,168,0 3(35 20 → 192,168,0 4(35 20) → 0/1 - 78	 AccessList1図 グループ名: グル フロー種別: Lay グループ内装置 アクセスリストをi 	レーブA IPアト ver3-Extended 一覧 適用する装置および行	ドレス: 192.168.0.1 哺足説明: GroupA ンタフェースの確認と	_Filter_10_a 設定を行います。						
● 192.108.1.1(装直	は、装置名	IPアドレス	装置モデル	ポード情報	VLAN情報	設定I/F	中維種別	MACEHE	ステータス	
■ 132.100.1.2(※直 ガループC	装置1	192,168.0.1	AX3630S-24T	2X 0/8.0/10	1	in	なし	なし	装置情報取得終了	
∃- <u>1</u> グループD	装置2	192.168.0.2	AX3630S-24T	-					装置情報取得終了	
● 192.168.3.2(装置	22 70-検出条件	-h								ĵ;
● 192.168.3.2(装造	2 フロー検出条件 フロー検出条 フロー検出条	:一覧 :件の確認と設定を行(:件数: 2	います。							Ť
● 192.168.3.2(装置	2 フロー検出条件 フロー検出条 フロー検出条 フロー検出条 サーケンス 番号	覧 (件の確認と設定を行((件数: 2 アクション 送信元 IPv4アドレ	います。 送信元 ワイルドカード II	^{宛先} 宛先 Pv47ドレ ワイルドカ	VLAN 5	『미トコル 皆号 to	s値 送信元 ポート番	道加 劳 宛先 者 哲·卜番	編集 前除 ack フラヴフラヴ	Î.
● 192.168.3.2(装置	2 フロー検出条件 フロー検出条件 フロー検出条 フロー検出条 番号 IUF 2018	覧 4件の確認と設定を行(4件の確認と設定を行(4件のない) 4 4 5 7 7 5 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	、ます。 送信元 5 ワイルドカード II リルリ255 ar	応先 Rv4アドレ ワイルドカ Nv	- 世界 1	^१ 미ト그ル 태국 to	s値 送信元 ポート番	道加 考 宛先 哲-下番	編集 前除 ack syn 757 757 ott ott off off	Î.
- ● 192.168.3公装置	2 フロー検出条件 フロー検出条 フロー検出条 フロー検出条 シーケンス 番号 パロ 	- 予覧 - (件の確認と設定を行(- (件数: 2 アクション 送信元 IPv4アドレ + ○」 「し.1.0 平可 2.2.2.0	ンます。 送信元 ダ ワイルドカード II UUU200 ař 000255 ar	宛先 Pv4アドレ ワイルドカ ?vy	VLAN 7 番号 1 ip	Pロトコル to 番号 道力	s値 送信元 ボート番	道加… 第二章 第二章 第二章 第二章 第二章 第二章 第二章 第二章 第二章 第二章	編集 - 前時 ack syn 757 757 ott ott off off UT編集 - 前時	ît ît
← ● 192.168.3公装置 (2 フロー検出条件 フロー検出条 フロー検出条 シーケス 第 10日 20日	-一覧 (件の確認と設定を行((件数: 2 (学校): 2 ((学校): 2 (((((((((((((X達す。 送信元 ダ ワイルドカード II UUU2205 ar 0000255 ar	^{砲先} 短先 PV4アドレ ワイルドカ マイルドカ マイルドカ	VLAN 7 一番号 1 p	『ロトコル to 作号 道力	s値 送信元 ボート番	〕追加… 号 宛先 煮ート番 … □ピー1	編集. 利助 ack sym フラヴ フラヴ ott ott Ut編集. 利助 アクセスリストの反	ار بر تبل
→ ● 192.168.3.公装置	2 フロー検出条件 フロー検出条 フロー検出条 クロー検出条 マロー検出条 ロー検出条 ロー レ レ レ レ レ レ ス レ 校 出条 件 の ・ の 出 、 クロー検出条件 キ の ・ の ・ の と の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・	覧 (件の確認と認定を行う、 (件数: 2 アクション ドレ4クドレ +=1 「1.1.0 ドレ4クドレ 2.220	N書す。 送信元 9 ワイルドカード II IUUU250 a ² UUU255 ar	 売先 発先 Px4Pドレ ワイルドカ マイルドカ シッセージ 	VLAN - 番号 III III III III III III III III III	プロトコル to 作号 注意力	s値 送信元 ボート番	〕追加… 号 宛先 水」ト番	編集 前時 sok Syn フラヴ フラヴ off off して編集 前除 アクセスリストの反	余 余 Z映
→ ● 192.168.3.2(装置	2 フロー検出条件 フロー検出条 フロー検出条 シージス ・ ・ ・ ・ ・ ・ ジス ・ ・ ・ ・ ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・	 一覧 (件の確認と認定を行う((件数: 2 アクラコン IPへ47ドレ +ei] 「ひ.1.0 年可 22220 IPアドレス IPアドレス)達す。 送信元 ダ ワイルドカード II UUU 200 ař 000255 ar	宿先 宛先 PA4Pドレ 2/ルドカ W 1 Ny メッセージ (フルーノクルー、	- VLAN 7 番号 PP P P	パロトコル to 参号)道力 AccessList I (s値 ボート番 ロ_ 編集 こパするノロー例	」追加… 号 苑先 ボート番 … □ピー! 出粂!Fを思新	編集. 利助 ack syn フラヴ フラヴ off off して編集. 利助 アクセスリストの反	î î î î t
→ ● 192.168.3 公装置 	2 フロー検出条件 フロー検出条 フロー検出条 シーマー検出条 シーマー検出条 シーマー検出条 シーマース 部号 10日 144105442	1 1 	Nます。 送信元 ダ ワイルルケット II 000255 ar	縮先 宛先 P×47ドレ ワイルドカ マッ	- VLAN 1 番号 1 ゆ ゆ ゆ なりアクセスリスト A のアクセスリスト	パロトコル to 作号 iBか AccessList I (AccessList 1 (s値 送信元 ポート番 ロー (新する20-46)	」 追加 号 宛先 ボート番 	編集. 利約 ack syn 75ガ 75ガ off off CC編集. 利助 アクセスリストの反 しました。	余

(5) フィルタを装置に反映する

フィルタの作成(フィルタを新規に作成したい場合のみ),フィルタを適用す るインタフェースとフロー検出条件の設定,フィルタの編集(フィルタ情報の 編集を行いたい場合のみ)が一通り完了し,設定内容に問題なければ,[アクセ スリストの反映]ボタンを押下します。これにより,ツールで設計したフィルタ が装置のランニングコンフィグ上に反映されます。

図 3-31 フィルタを設定する(12)

🏂 フィルタ管理ツール -	C:¥装置情報.csv									
ファイル(<u>E</u>) グループ(<u>G</u>) 装置(<u>N</u>) アクセスリスト	·(<u>A</u>) 実行(<u>E</u>)	ヘルプ(<u>H</u>)							
装置一覧	AccessList1 🕱									
● 192.168.0.1(装置 ● AccessList	11 グループ名: グループA	IPアド	レス: 192.168.0.1							
● ● 192.168.0.2(装置	2 7日一種別: Layer3-Ex	tended 취	龍足説明: GroupA_Fil	ter_10_a						
	4 グループ内装置一覧									
■	アクセスリストを適用する	る装置およびイン	タフェースの確認と設定	を行います。						
● 192.168.1.2(装置	2 装置名 1	Pアドレス	装置モデル	ポード情報	VLAN情報	設定I/F	中維種別	MACモード	ステータス	
■	装置1 1	92.168.0.1	AX3630S-24T2X	0/8,0/10		in	なし	なし	装置情報	[[得終了▲
● 192 168 3 1(装置	·1 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	92.168.0.2	AX36305-241	_					装置 情報時	以(守於了… *
● 192.168.3.2(装置	2							追加	編集	削除
	7日-検出条件一覧									
	フロー検出条件の確	認と設定を行い	ます。							
	7日-検出条件数:	2								
	シーケンス アクション	送信元	送信元 宛先	宛先	VLAN 7	to אבלם	s値 送信元		ack	syn
	101i十回	1.1.1.0	0.0.0.255 any	- 101010	11875 118 P	-5		5 <u>n</u> -r u	ott	011 A
	20 許可	2.2.2.0	0.0.0.255 any		ip				off	off 👻
						追力	0	.) (_Ľ-I	いて編集	削除
									アクセス	リストの反映
• •									_	_
日付	時刻	IPアドレス		メッセージ	1117/17/2012 5 4			七会1年を単新	dt.c.	
2014/01/26	14:41:05.442			グループ グループA	のアクセスリスト	AccessList1 (に対するフロー検	出条件を更新	しました。	^
2014/01/26	14:41:34.778			グループ グループA	のアクセスリスト A	AccessList1 (に対するフロー検	出条件を更新	はした。	
2014/01/26	14:43:04.509			- パリセスリストを更新	しました。					· · · ·

① [アクセスリストの反映]ボタン を押下します。

実行確認ダイアログが表示されるので、[はい]ボタンを押下します。

図 3-32 フィルタを設定する(13)

フィルタ管理ツール - 実行確認	
グループ グループA に対し	って, アクセスリスト AccessList1 を反映しますか?
(‡L	(Y) いいえ(N)

②[はい]ボタンを押下します。

これらの操作を各グループに対して、繰り返してください。

[注意事項]

- ・[アクセスリストの反映]操作を実施する前にツールを終了した場合,ツール の次回起動には、フィルタを適用するインタフェースとフロー検出条件の 設定内容が失われます。
- AX2500S シリーズの場合, SML 機能で利用しているピアリンクポートに 対してフィルタを設定できません。フィルタを設定しようとすると,エラ ーになります。

(6) ランニングコンフィグをスタートアップコンフィグに反映する

停電や障害などにより装置の再起動が行われた場合に備え、装置のランニング コンフィグをスタートアップコンフィグに反映してください。装置一覧ツリー 上でグループを選択し、[実行]-[アクセスリストの反映]メニューを選択、もし くは装置一覧ツリー上のグループをマウスで右クリックして、表示されるポッ プアップメニューから[スタートアップコンフィグの反映]を選択します。

図 3-33 フィルタを設定する(14)

1	[実行]-[スタートアップコンフィグへの 反映]メニューを押下します。

🍝 フィルタ管理ツール - (▲ フィルタ管理ツール - C:¥装置情報.csv											- 0 X
ファイル(F) グループ(G)	ファイル(F) グループ(G) 装置(N) アクセスリスト(A (文打(C)) ハルノ(n)											
装置一覧	AccessList1 🕱	装	。 置情報取得(R)		Ctr	1+R						
		ス	タートアップコ	コンフィグへ	反映(U) Ctr	1+U						
● 192.168.0.1(装置 ● AccessList1(グループ名: グループ	יא (クセスリストの	D反映(P)	Ctr	1+P						
● ● 192.168.0.2(装置	フロー種別: Layer3	Extended R	創定記明: Group	A_Filter_10_a								
● ● 192.168.0.3(装置)	21 「「「「ガループ内装置一門	i i										
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	アクセスリストを適用	ー する装置およびイン	タフェースの確認	と設定を行いる	tす。							
● 192.168.1.1(装置) ● 192.168.1.2(装置)	装置名	IPアドレス	装置モデル	ボー	小春報	VLAN情朝	設定レ	F 中維	睡別	маст-к	ステータス	2
	装置1	192.168.0.1	AX3630S-2	4T2X 0/8,0	/10		in	なし	1	まし	設定終了	(成功) 🔺
□ ● グループD ● 192 168 3 1(注号)	装置2	192.168.0.2	AX3630S-2	4T							設定終了	7(成功) -
● 192.168.3.2(装置)										追加	編集	削除
	7日-検出条件一	i										
	7日-検出条件の)確認と設定を行(ます。									
	7日一検出条件報	妆: 2										
	シーケンス アク: 番号 アク:	ション 送信元 IPv4アドレ	送信元 ワイルドカード	宛先 IPv4アドレ	宛先 ワイルドカー	VLAN 番号	プロトコル 番号	tos値	送信元 ポート番号	宛先 ポート番	ack フラグ	syn フラグ
	10許可	1.1.1.0	0.0.0.255	any	1		ip			-	off	off _
	200111111	19991	10 10 10 266	lanv		1	lin 📑	iệtn 🗌	福生		lott .7.這集	
								9/10	1999-297C		0.01099390	
											アクセ	スリストの反映
→ 												
日付	時刻	IPアドレス		x94	-9							
2014/01/26	14:45:21.782 14:46:14.054	192.168.0.2		装置	192.168.0.2(%	も直21に対す 結置1)に対す	1 <i>るアクセス</i> リス 1るアクセスリス	ト Access ト Access	List1 の反映 List1 の反映	#70正吊於」 #ガ正常終う	「しました。 「しました。	
2014/01/26	14:46:39.421	192.168.0.3		装置	192.168.0.3(‡	電3) (こ対す	るアクセスリス	Access	List1 の反時	映が正常終了	てしました。	
2014/01/26	14:46:39.453			グルー	ブ グループA	に対するアク	セスリスト Acce	essList1 (D反映が正常	常終了しまし	た。	~

実行確認ダイアログが表示されるので、[はい]ボタンを押下します。

図 3-34 フィルタを設定する(15)



②[はい]ボタンを押下します。

3.2.3 設定画面

ここでは、[アクセスリスト適用インタフェース設定]画面と[フロー検出条件設定]画面の詳細内容について説明します。

(1) アクセスリスト適用インタフェース設定画面

図 3-35 設定画面(1)

フィルタ管理ッ	フィルタ管理ツール - アクセスリスト適用インタフェース設定								
アクセスリストを通	アクセスリストを適用する装置およびインタフェース情報についての設定を行います。								
┌装置情報設定									
※装置名:	[装置1								•
※IPアドレス:	192.168.0.1					•			
□ポート情報設定	2								
装置内	ポート一覧					<u></u>	椿 翻設定		
スイッチ番号	NIF番号	ポート番号	LA番号			スイッチ番号	NIF番号	ポート番号	LA番号
-	0	1	-		追加				
-	0	3	-		削除				
-	0	4	-						
		5	5	· ·					
-VLAN情報語知 本要中						10.000	+ + CEA		
展面内 VI AN番号	vlan <u>→</u> 見	\/I AN-タ				VLAN]	育業限制改正	V/I AN-2	
1		VLAN0001			追加	VCINGE 9		¥11100	
10		VLAN0010			削除				
20		VLAN0020		-					
30		VLAN0030		-					
「その他の設定」									
※設定化297	1-7: [in							
	- ··· L								
中維種別:			Ψ.						
MACモード:	:	なし	Ŧ						
※:必須選択エ	項目							ОК	キャンセル

表 3-2 [アクセスリスト適用インタフェース設定]画面の項目

項番	大項目	項目	内容
1	装置情報 設定	装置名	装置へ付与した装置名を表示します
2		IPアドレス	装置へ付与した IPv4 アドレスを表示します
3	ポート情報設定	スイッチ番号	AX4600S 11.11.B 以上, AX3800S/AX3650S 11.8 以上またはAX3660S 12.0.A 以上の場合, 装置のスイッチ番号を表示します 上記以外の装置の場合, - を表示します
4		NIF 番号	装置が搭載している NIF 番号を表示します
5		ポート番号	NIF 内ポート番号を表示します
6		LA 番号	装置に定義しているリンクアグリゲーショ ン番号(チャネルグループ番号)を表示しま す ・LA 番号なしの場合は, "-"で表示します
7		[追加] ボタン	装置内一覧テーブルで選択されている行の ポート情報をアクセスリスト適用インタフ ェースに追加します
8		 [削除] ボタン	ポート情報設定テーブルで選択されている 行のポート情報をアクセスリスト適用イン タフェースから削除します
9	VLAN 情 報設定	VLAN 番号	装置に定義している VLAN 番号を表示しま す
10		VLAN 名	装置に定義している VLAN 名を表示します
11		 [追加] ボタン	装置内一覧テーブルで選択されている行の VLAN 情報をアクセスリスト適用インタフ ェースに追加します

12		[削除] ボタン	VLAN 情報設定テーブルで選択されている 行の VLAN 情報をアクセスリスト適用イン タフェースから削除します
13	その他の 設定	設定インタフェー ス	フィルタ検出を行う送受信インタフェース を選択・表示します ·in (受信側) ·out (送信側) [初期値]in
14		中継種別	フィルタ検出を行うレイヤを選択・表示しま す ・layer2-forwarding ・layer3-forwarding ・なし [初期値]なし
15		MAC モード	 MAC ヘッダでフィルタ検出を行うモードを表示します ・有効 ・なし [初期値]なし
16	ボタン	[OK]ボタン	表示内容を更新します
17		[キャンセル]ボタン	表示内容更新を行いません

[注意事項]

 ・本ツールでは、MACモードの設定操作は行わず、設定内容の表示のみを行います。そのため、MACモードを使用する場合、事前に装置側で設定し、 運用してください。

(2) フロー検出条件設定画面

図 3-36 設定画面(2)

フィルタ管理ツール - フ	□-検出条件設定		×
アクセスリスト、フロー検出条	牛を設定します。		
「アクセスリスト設定			
※アクセスリスト名:			
補足説明:			
7日-検出条件設定			
※シーケンス番号:			
※アクション:	許可	•	
※送信元IPv4アドレス:	開始側	~ 終	§了側
送信元ワイルドカード:			
※宛先IPv4アドレス:	開始側	~ 終	§了側
宛先ワイルドカード:			
VLAN番号:			
※プロトコル番号:		•	
tos值:		•	
送信元ポート番号:	開始側	- ~ 終	§了側 -
宛先术一卜番号:	開始側	- ~ 終	§了側 -
ackフラグ:	off	T	
synフラグ:	off	~	
※:必須選択項目		[OK キャンセル

表 3-3 [フロー検出条件設定]画面の項目

項番	項目	内容
1	アクセスリスト名	アクセスリスト名称を入力・表示します。アクセスリ
		スト追加操作時にのみ入力可能です。
		※対象装置により、以下の範囲で入力してください。
		[AX6700S/AX6600S/AX6300S/AX4600S/AX3800S
		/AX3600S/AX2400S]
		・数値で指定する場合
		100~199 または 2000~2699
		・上記以外の場合
		1 文字目を半角英字, 2 文字目以降を半角英数
		字またはハイフン(-), アンダースコア(_), ピリ
		オド(.)で 1~31 文字
		[AX2500S]
		1 文字目を半角英字, 2 文字目以降を半角英数
		字またはハイフン(-), アンダースコア(_), ピリ
		オド(.)で 4~31 文字
		[AX2200S/AX2100S/AX1200S]
		1 文字目を半角英字, 2 文字目以降を半角英数
		字またはハイフン(-), アンダースコア(_), ピリ
		オド(.)で 3~31 文字
2	補足説明	アクセスリストの補足説明を入力・表示します。
		※64 文字以内の半角英数文字および特殊記号で入力
		してください。
3	シーケンス番号	アクセスリストのシーケンス番号を入力・表示します
		※1~4294967294 の範囲で入力してください。
4	アクション	パケットがフロー検出条件に一致したときの動作を選
		択・表示します。
		·許可
		·拒否
		[初期值]許可
5	送信元 IPv4 アドレス	送信元 IPv4 アドレスを入力・表示します。

		※「0.0.0.0」~「255.255.255.255」の範囲で入力し
		てください。
		※any(すべての送信元 IPv4 アドレスを指します。)
6	送信元ワイルドカー	送信元アドレスのマスクを入力・表示します。
	F	※送信元 IPv4 アドレスの中で任意の値を許可するビ
		ットを立てたワイルドカードを「0.0.0.0」~
		「255. 255. 255. 255」の範囲で入力してください。
		※送信元 IPv4 アドレスを範囲指定した場合には入力
		できません。
		※host は,入力できません。表示のみ行います。
7	宛先 IPv4 アドレス	宛先 IPv4 アドレスを入力・表示します。
		※「0.0.0.0」~「255.255.255.255」の範囲で入力し
		てください。
		※any(すべての宛先 IPv4 アドレスを指します。)
8	宛先ワイルドカード	宛先アドレスのマスクを入力・表示します。
		※宛先 IPv4 アドレスの中で任意の値を許可するビッ
		トを立てたワイルドカードを「0.0.0.0」~
		「255. 255. 255. 255」の範囲で入力してください。
		※宛先 IPv4 アドレスを範囲指定した場合には入力で
		きません。
		※host は,入力できません。表示のみ行います。
9	VLAN 番号	VLAN 番号を入力・表示します
		※1~4095 の範囲で入力してください。
10	プロトコル番号	プロトコル名称を選択・表示,またはプロトコル番号
		を入力・表示します。
		※プロトコル番号については,0~255の範囲で入力し
		てください。
11	tos 値	tos 名称を選択・表示,または tos 値を入力・表示しま
		す。
		※tos 値については, 0~15 の範囲で入力してくださ
		₩.
12	送信元ポート番号	送信元ポート名称を選択・表示、または送信元ポート
		番号を入力・表示します。
		※プロトコル番号が TCP および UDP の場合のみ設定可
		能です。
		※送信元ポート番号については、0~65535の範囲で入

		-
		力してください。
13	宛先ポート番号	宛先ポート名称を選択・表示、または宛先ポート番号
		を入力・表示します。
		※プロトコル番号が TCP および UDP の場合のみ設定可
		能です。
		※宛先ポート番号については,0~65535の範囲で入力
		してください。
14	ack フラグ	TCP ヘッダの ACK フラグを選択・表示します。
		・on (ACK フラグのビットが 1 のパケットをフロー検出
		条件の対象とします)
		・off (ACK フラグをフロー検出条件の対象としません)
		[初期值]off
15	syn フラグ	TCP ヘッダの SYN フラグを選択・表示します。
		・on (SYN フラグのビットが 1 のパケットをフロー検出
		条件の対象とします)
		・off (SYN フラグをフロー検出条件の対象としません)
		[初期値]off
16	[OK]ボタン	表示内容を更新します
17	[キャンセル]ボタン	表示内容更新を行いません

[注意事項]

・記載事項以外の内容については、「6 付録」を参照してください。

4. ツールの設定ファイル

この章では、フィルタ管理ツールの設定ファイルについて説明します。

4.1 ツールの設定ファイル4.2 ツールの装置情報ファイル

4.1 ツールの設定ファイル

フィルタ管理ツールは、起動時に設定ファイルの読み込みを行います。フィル タ管理ツールを起動する前に、設定ファイルの内容を変更することで、ツール の動作を変更することができます。

4.1.1 設定ファイルの格納場所

設定ファイルは以下に格納されています。

<TARGETDIR>¥FilterTool¥FilterTool.properties

<TARGETDIR>…AX-Networker's-Utility インストール先ディレクトリ

デフォルトは C:¥Alaxala¥AX-Networker's-Utility

4.1.2 設定ファイルの項目一覧

フィルタ管理ツールの設定ファイルに定義されている項目には,以下がありま す。下記の手順にて編集してください。なお,本表で記載されていない設定項 目は,編集しないでください。

- (1) フィルタ管理ツールを終了する
- (2) 設定ファイルの編集を行う
- (3) フィルタ管理ツールを起動する

[注意事項]

フィルタ管理ツール起動中に設定ファイルの項目を編集した場合,フィルタ管 理ツールが終了する際,設定ファイルの上書きが発生し,編集した内容が失わ れるため,注意してください。

項番	項目	意味
1	LOG_FILE_NAME	動作ログファイルのファイル名です。※1※2※ 3 デフォルトは Table.log です。
2	LOG_FILE_SIZE	動作ログファイルのサイズです[単位:MB]。 デフォルトは8[MB]です。半角数値0~16を指 定可能です。0を指定した場合はログが出力さ れません。上記以外の場合は10[MB]で動作し ます。
3	LOG_KEEP_AMOUNT	動作ログファイルは、ファイルサイズが LOG_FILE_SIZE で設定しているサイズに達す ると、タイムスタンプが付与されたファイル名 にリネームされて退避されますが、本項目は、 動作ログファイル数の上限を定義します[単 位:個]。ディレクトリ内に退避され蓄積したフ ァイル数が、本項目の定義値に達すると、次回 ログ退避時には、最古の退避ファイルが上書さ れます。 デフォルトは 50[個]です。半角数値 1~50 を指 定可能です。上記以外の場合はデフォルト値で 動作します。
4	LOG_OUTPUT_DIR	動作ログ出力先ディレクトリです。 デフォルトは table-log です。※1※2※3
5	TRACE_LOG_FILE_NAME	デバッグログファイルのファイル名です。 デフォルトは Trace.log です。※1※2※3
6	TRACE_LOG_FILE_SIZE	デバッグログファイルのサイズです[単位: MB]。 デフォルトは8[MB]です。半角数値0~16を指 定可能です。0を指定した場合はログが出力さ れません。上記以外の場合は10[MB]で動作し

表	4-1	フィルタ管理ツ	ールの設定ファイバ	レの項目一覧
---	-----	---------	-----------	--------

		ます。
7	TRACE_LOG_KEEP_AMOUNT	デバッグログファイルは、ファイルサイズが LOG_FILE_SIZE で設定しているサイズに達す ると、タイムスタンプが付与されたファイル名 にリネームされて退避されますが、本項目は、 デバッグログファイル数の上限を定義します [単位:個]。ディレクトリ内に退避され蓄積し たファイル数が、本項目の定義値に達すると、 次回ログ退避時には、最古の退避ファイルが上 書されます。 デフォルトは 50[個]です。半角数値 1~50 を指 定可能です。上記以外の場合はデフォルト値で 動作します。
8	TRACE_LOG_LEVEL	プログラムの中で指定したデバッグログの出 カレベルがこの項目で指定した値と同じか高 い場合にログを出力します。ログ出力レベルは 高い順に次の3つがあります。 ・ERROR ・INFO ・DEBUG デフォルトは INFO です。
9	TRACE_LOG_OUTPUT	デバッグログを出力するかどうかを指定しま す。ON に設定するとログが出力され,OFF に 設定するとログは出力されません。 デフォルトは ON です。
10	TRACE_LOG_OUTPUT_DIR	デバッグログ出力先ディレクトリです。 デフォルトは trace-log です。※1※2※3
11	common.appinstcheck.port	本ツールが既に起動しているかどうかを確認 する際に利用する TCP ポート番号です。5001 ~65535 の範囲から指定します。デフォルトは 9476 です。本ツールのデフォルトである TCP ポート 9476 が既に使用されており、別の TCP ポート番号へ変える場合、他のアプリケーショ

		ンで利用している TCP ポート番号と重ならな
		いように設定してください。他のアプリケーシ
		ョンが使用している TCP ポート番号を確認す
		るには, コマンドプロンプト上で" netstat -an"
		コマンドを実行して,使用しているポートを確
		認してください。※4
12	common.format.nodeinfo.import.duplicate	装置情報のインポートを行う際、インポート対象
	.entry	の装置情報の IP アドレスが, ツールが保持してい
		る既存の装置情報の IP アドレスと同じ場合, イン
		ポート対象の装置情報を読み飛ばすか、既存の装
		置情報をインポート対象の装置情報で入れ替え
		るかを指定します。
		・SKIP…インポート対象の装置情報を読み飛ばす
		・REPLACE…既存の装置情報をインポート対象の
		装置情報で入れ替える
		デフォルトは SKIP です。

※1…ディレクトリ名およびファイル名として利用できない文字を設定した場 合にはログが出力されなくなりますのでご注意ください。

※2…設定ファイル上では,指定値に以下の文字を含む場合,その文字の前に ¥(半角円記号)を追加して指定してください。

[対象の文字]

¥ # ! = :

例: 値 C:¥Documents and Settings¥operator#1¥trace を指定する場合

→設定ファイルでの指定値(<u>下線部</u>が追加指定分)

C<u>¥</u>:<u>¥</u>¥Documents and Settings<u>¥</u>¥operator<u>¥</u>#1<u>¥</u>¥trace

※3…AX-Networker's-Utilityの他のツールを利用している場合,

共通のディレクトリ名およびファイル名を指定しないでください。

※4…本ツール用のTCP ポート番号が使用されているかどうかを確認するには コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行してください。

netstat -an | findstr ":9476"

本ツール用の TCP ポート番号が使用されている場合には、以下のように
表示されます。 左から2番目の文字列の末尾が ":9476" になります。

TCP127.0.0.1:94760.0.0.0:0LISTENING本ツール用のTCP ポート番号が使用されていない場合には、何も表示されません。

本ツールおよび他のアプリケーションで利用している TCP ポート番号を 確認するには,コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行してください。

netstat -an | findstr "TCP"

本ツールおよび他のアプリケーションで利用しているポート番号は,以下 のように表示されます。左から2番目の文字列の:文字の後ろが TCP ポ ート番号です。

:	:	:	:
ТСР	127.0.0.1:9476	0.0.0.0:0	LISTENING
ТСР	0.0.0.0:445	0.0.0.0:0	LISTENING
TCP	0.0.0.135	0.0.0.0:0	LISTENING

(以下省略)

本ツールで利用する TCP ポート番号をデフォルトから変更する場合には 上記の利用しているポート番号以外を指定してください。

4.2 ツールの装置情報ファイル

フィルタ管理ツールの装置情報ファイルは,使用したグループ,装置などの情報を記録したファイルです。

[作成方法]

ツールにて,[ファイル]-[名前を付けて保存],または[ファイル]-[上書き保存] メニューを実行した際,装置情報ファイルに保存します。

[ファイル形式]

装置情報ファイルは、CSV 形式のテキストファイルです。起動時に設定ファイルの読み込みを行います。装置情報ファイルの例と、装置情報ファイルをテーブル形式で表示したイメージを次図および次表に示します。

[注意事項]

- ・装置情報ファイルをスプレッドシートアプリケーションで編集する場合は、
 各フィールドの値(例:グループ名や装置名)に「"」(ダブルクォート)や
 「,」(カンマ)を使用しないでください。
- ・グループ名や装置名等に「"」(ダブルクォート)や「,」(カンマ)を使用 すると、ツールからファイルを読み込んだ際に、グループ名や装置名等が正 しく表示されない、または、ファイルの読み込みに失敗する場合があります。
- ・各フィールドの値として HTML タグやタブ文字を使用しないでください。
 HTML タグやタブ文字を使用すると、ツール上で正しく表示されないことがあります。

図 4-1 装置情報ファイルの例

行番号	1列目	2 列目	3 列目
1	グループ名	IPアドレス	装置名
2	グループ A	192.168.0.1	装置1
3	グループ A	192.168.0.2	装置 2
4	グループ A	192.168.0.3	
5	グループ A	192.168.0.4	装置 4
6	グループ B	192.168.1.1	装置1
7	グループ B	192.168.1.2	装置 2
8	グループC		
9	グループD	192.168.3.1	装置1

表 4-2 装置情報ファイルをテーブル形式で表示したイメージ

- ・装置情報ファイル作成する場合,1行目にはヘッダ情報を記述し,2行目以降 に各装置の装置情報を記述します。※1※3
- ・1列目: グループ名は1~32文字で設定可能です。
- ・2列目: IP アドレスは 10進ドット記法の IPv4 アドレスで設定可能です。
- ・3列目:装置名は0~64文字で設定可能です。
- ・4 行目の3 列には,装置名の指定がありませんが,このように,装置名は指 定を省略することができます(その他の項目は指定が必須であり,省略する ことはできません)。
- ・また,8行目は1列のグループ名のみ指定されていますが,このような装置 情報は、「装置情報のエントリがないグループ」という特別な意味を持ちま す。※2
- ・各列の指定値が不正(範囲外)な場合,装置情報ファイル読み込み時にエラー となります。

※11行目(ヘッダ情報)は省略できませんが、ヘッダ情報の記述内容は任意です。(上図の例と同様の記述にする必要はありません。)

※2 グループ名のみ指定した装置情報を、同一のグループ名で複数件登録した場合、2件目以降は無視されます。

※3 装置情報ファイルには空行(改行だけの行)を記述できません。記述した場合には エラーになります。

5. トラブルシューティング

この章では,フィルタ管理ツールのトラブルシューティングについて説明します。

 5.1
 トラブル発生時の対応

 5.2
 メッセージー覧

5.3 ログファイル

5.1 トラブル発生時の対応

本ツールの操作中に発生するトラブルへの対応方法を解説します。

表 5-1 トラブル発生時の対応方法

項番	現象
	原因
	対応方法
1	ツールの操作により,[装置情報設定]画面や,[グループ情報設定]画面等の画面を開いた
	ところ、入力項目のないグレーの画面が表示された。
	ツールの操作により画面を開いた際、まれに、入力項目のないグレーの画面が表示され
	る場合があります。
	ー度[×]ボタンで画面を閉じ,操作を再度行って画面を開き直してください。
2	装置情報取得,アクセスリストの反映,スタートアップコンフィグへの反映操作を実行
	したところ、ログ情報テーブルに以下のメッセージが表示され、操作が失敗終了した。
	メッセージ:
	・「装置情報取得に失敗しました。(エラーメッセージ:[エラーメッセージ])」
	・装置 [IP アドレス(装置名)] に対するスタートアップコンフィグへの反映に
	失敗しました。
	・装置 [IP アドレス(装置名)] に対するアクセスリスト [アクセスリスト名]
	の反映に失敗しました。
	・装置 [IP アドレス(装置名)] に対するスタートアップコンフィグへの反映に
	失敗しました。
	・グループ [グループ名] に対するアクセスリスト [アクセスリスト名] の
	反映に失敗しました。
	・グループ [グループ名] に対するスタートアップコンフィグへの反映に失敗
	しました。
	以下が原因として考えられます。
	①ツールに登録した装置の IP アドレスが誤っている。
	②「 <u>2.2.1 装置の設定を行う</u> 」に記載の設定が行われていない。
	③装置側の設定,もしくは,フィルタ管理 PC 側のネットワーク設定に起因して,フィル
	タ管理 PC と、装置間が通信できない状態になっている。
	④フィルタ管理 PC と、装置間の回線が物理的に切断している。
	①または②に問題が無いかどうか,確認してください。

	①が原因の場合は、[装置]-[編集]操作により、装置の IP アドレスを修正したのち、操作
	を再度実行してください。
	②が原因の場合は、「 <u>2.2.1 装置の設定を行う</u> 」の内容に従って装置の設定を行った後,
	操作を再度実行してください。
	①, ②に問題が無い場合は、③または④について確認し、フィルタ管理 PC と、装置間を
	通信できる状態に復旧してください。
3	装置情報取得操作やアクセスリストの反映操作を実行したところ、ログ情報テーブルに
	以下のメッセージが表示され、操作が失敗終了した。
	メッセージ:
	 ・「装置情報取得に失敗しました。(要因:オペレーションに失敗,エラーメッセージ:
	ERR0300 : Fatal error. Cannot generate 'message ID' for connection.)
	・「装置 [IP アドレス(装置名)] に対するアクセスリスト [アクセスリスト名]の反映に失
	敗しました。(要因:オペレーションに失敗,エラーメッセージ:ERR0300 :Fatal error.
	Cannot generate 'message ID' for connection.)
	ツールと装置間の通信時に利用するファイルの内容が不正な内容になっていることが原
	因として考えられます。
	以下のファイルを削除して、実施した操作を再度行ってください。
	<targetdir>¥FilterTool¥message.count</targetdir>
	<targetdir>…AX-Networker's-Utility インストールディレクトリ</targetdir>
	デフォルトは C:¥Alaxala¥AX-Networker's-Utility

5.2 メッセージー覧

(1) フィルタ管理ツールのダイアログ表示メッセージー覧

フィルタ管理ツールのダイアログ上で表示されるメッセージの一覧を次の表に 示します。

表 5-2 ダイアログ表示メッセージー覧

項番	メッセージ	内容
1	グループ名は 1~32 文字の文字列で	グループ名の入力値が不正です。
	入力してください。	
2	そのグループ名を持つグループは既	グループ名はツール上で一意にする必要
	に存在します。	があります。
3	IPアドレスは10進ドット記法のIPv4	IP アドレスの入力値が不正です。
	アドレスで入力してください。	
4	その IP アドレスを持つ装置は既に存	IPアドレスはツール上で一意にする必要
	在します。	があります。
5	装置名は 0~64 文字の文字列で入力	装置名の入力値が不正です。
	してください。	
6	その IP アドレスは装置に設定できな	以下の IP アドレスは入力できません。
	いアドレスです。 再度入力してくださ	• 0.*.*.*
	<i>د</i> ر ،	• 127.*.*.*
		• 224~255.*.*.*
		*…0~255
7	設定ファイルの保存に失敗しました。	設定ファイル「FilterTool.properties」の保
		存に失敗しました。本メッセージが表示
		された場合は、設定ファイルを外部のエ
		ディタ等で開いたままの状態にしていな
		いか、あるいは、設定ファイルが読み取
		り専用属性になっていないかを確認して
		ください。
8	本ツールは同時に2つ以上起動でき	本ツールがすでに起動しているか、本ツ
	ません。またはポートが使用されてい	ールが使用する TCP ポート (デフォルト
	ます。終了します。	は 9476)が使用されています。
		別のアプリケーションで TCP ポート

		9476 が利用されている場合は, そのアプ
		リケーションを終了させるか,「 <u>4.1.2 設</u>
		<u>定ファイルの項目一覧</u> 」記載の
		common.appinstcheck.portの値を変更して
		本ツールを起動させてください。
9	本ツールの起動チェックに失敗しま	本ツールの2重起動チェックに失敗しま
	した。終了します。	した。本メッセージが表示された場合,
		再度操作を行ってください。再度操作を
		行っても表示される場合は、販売元に問
		い合わせてください。
10	装置情報ファイルの上書き保存に失	装置情報ファイルの上書き保存に失敗し
	敗しました。	ました。本メッセージが表示された場合
		は、装置情報ファイルを外部のエディタ
		等で開いたままの状態にしていないか,
		あるいは、装置情報ファイルが読み取り
		専用属性になっていないかを確認してく
		ださい。
11	装置情報ファイルの保存に失敗しま	装置情報ファイルの保存に失敗しまし
	した。	た。本メッセージが表示された場合は,
		装置情報ファイルを外部のエディタ等で
		開いたままの状態にしていないか,ある
		いは、装置情報ファイルが読み取り専用
		属性になっていないか,確認してくださ
		<i>د</i> ر.
12	装置情報が保存されていません。保存	装置情報が未保存の際に新規作成,開く,
	しますか?	終了操作を行った場合に表示される確認
		メッセージです。
13	グループ [グループ名] を削除しま	グループの削除を行う際に表示される確
	すか?	認メッセージです。
14	装置 [IP アドレス(装置名)] を削除し	装置の削除を行う際に表示される確認メ
	ますか?	ッセージです。
15	アクセスリストの補足説明に半角空	アクセスリストの追加・編集時に補足説
	白のみを指定した場合は, 補足説明は	明に半角空白のみを指定した場合に表示
	削除されます。	されます。(エラーにはせず,補足説明な
		しで更新されます。)
16	そのアクセスリスト名を持つアクセ	装置が既に保持しているアクセスリスト

	スリストは既に存在します。	名を指定した場合に表示されます。
		別のアクセスリスト名を指定してくださ
		۷۰,
17	アクセスリスト名を指定してくださ	アクセスリスト名称が未入力の場合に表
	k∿₀	示されます。
18	アクセスリスト名は 1 文字目を半角	対象装置が AX2500S/AX2200S/AX2100S/
	英字,2文字目以降を半角英数字また	AX1200S で, アクセスリスト名称として
	はハイフン(-), アンダースコア(_),	以下のいずれかを入力した場合に表示さ
	ピリオド(.)で[最小文字数](*1)~31 文	れます。
	字で指定してください。	・1 文字目が半角英字でない
		・[最小文字数](*1)未満または 32 文字以
		上の文字列
		・半角英数字およびハイフン(-), アンダ
		ースコア(_), ピリオド(.)以外の文字が
		含まれている
		*1 [最小文字数]…
		AX2500S:4 文字
		AX2200S/AX2100S/AX1200S:3 文字
19	アクセスリスト名を数値で指定する	対象装置がAX6000S/AX4600S/AX3800S/
	場合は100~199または2000~2699で	AX3600S/AX2400S で,アクセスリスト名
	指定してください。	称として以下を入力した場合に表示され
		ます。
		・文字列が敷粉値であり かつ100~100
		2000~2600 の範囲外の敷粉を指定1 た
		2000 2000 2000 範囲(中の) 並及を相定した 堪合
20	アクヤスリスト名け数値またけ1 す	対象装置が AX6000S/AX4600S/AX3800S/
20	字目を半角革字 2 文字日以降を坐角	AX3600S/AX2400S で アクセスリストタ
	エビー コヘ」, 2 ヘ」 ロジロビーカ	称として以下のいずれかを入力した場合
	スペームには ノン(し, ノンノー)	に表示されます
	- / (), こ / / · () (1 - 51 文子 (1 定してください	 ・1 文字目が半角広空でかく かつ敷粉
		・ ステロが干月大子となく,かつ金奴 値でもわい
		■ く 0 (4 v) • 32 文字以上の文字列
		- 十円米数十ねよいハイノン(-), ノンク
		<u> ースコア(), ヒリオド(.)以外の</u> 乂子が

		含まれている
21	補足説明は 64 文字以内の半角英数字	以下のいずれかの条件を満たす場合に表
	および記号で指定してください。	示されます。
		・補足説明として 65 文字以上の文字列を
		指定した
		・補足説明に半角文字以外が含まれてい
		る
22	対象装置では補足説明に次の文字は	補足説明に以下[使用不可文字]のいずれ
	使えません。再度入力してください。	かが含まれる場合に表示されます。
	[使用不可文字]	
		[使用不可文字]
		AX6000S/AX4600S/AX3800S/AX3600S/A
		X2400S…"\$';¥`{}
		AX2500S/AX2200S/AX2100S/AX1200S ····
		"
23	グループ [グループ名] に対して,装	グループに対して装置情報取得を行う際
	置情報取得を行いますか?	に表示される確認メッセージです。
24	装置 [IP アドレス(装置名)] に対し	装置に対して装置情報取得を行う際に表
	て,装置情報取得を行いますか?	示される確認メッセージです。
25	グループ [グループ名] の装置に対	グループに対してアクセスリストの反映
	して, アクセスリスト [アクセスリス	操作を行う際に表示される確認メッセー
	ト名]を反映しますか?	ジです。
26	グループ [グループ名] の装置に対	グループに対してスタートアップコンフ
	して, ランニングコンフィグをスター	ィグの反映操作を行う際に表示される確
	トアップコンフィグに反映します	認メッセージです。
	か?	
27	装置 [装置名] に対して, ランニング	装置に対してスタートアップコンフィグ
	コンフィグをスタートアップコンフ	の反映操作を行う際に表示される確認メ
	ィグに反映しますか?	ッセージです。
28	アクセスリスト [アクセスリスト名]	アクセスリスト内のフロー検出条件の数
	は、フロー検出条件数が4001件以上	が 4001 件以上設定されています。本ツー
	あるため,操作できません。	ルでアクセスリストを操作する場合は,
		フロー検出条件を 4000 件以下にする必
		要があります。
29	アクセスリストを設定するインタフ	アクセスリストを設定するインタフェー
	ェースが設定されていません。	スが設定されていません。アクセスリス

		トを設定するインタフェースを設定して
		ください。
30	選択した装置およびインタフェース	選択した装置に対して削除操作を行う際
	を削除しますか?	に表示される確認メッセージです。
31	選択したフロー検出条件を削除しま	選択したフロー検出条件に対して削除操
	すか?	作を行う際に表示される確認メッセージ
		です。
32	選択したフロー検出条件は削除でき	選択したフロー検出条件に対して削除操
	ません。	作に失敗した際に表示される確認メッセ
		ージです。
33	シーケンス番号は 1~4294967294 の	シーケンス番号が入力されていない、ま
	数値で入力してください。	たは1~4294967294 以外の数値が入力さ
		れています。
34	送信元 IPv4 アドレスおよび宛先 IPv4	IPv4 アドレスの入力値が不正です。
	アドレスは, 10 進ドット記法の IPv4	
	アドレスで入力してください。	
35	送信元 IPv4 アドレスおよび宛先 IPv4	送信元 IPv4 アドレスおよび宛先 IPv4 ア
	アドレスは,終了側単独の指定が行え	ドレスが終了側にのみ設定されているた
	ません。	め、エラーとなりました。単独の指定は
		開始側に設定してください。
36	送信元 IPv4 アドレスおよび宛先 IPv4	送信元 IPv4 アドレスおよび宛先 IPv4 ア
	アドレスの範囲指定時には,開始側よ	ドレスで、終了側より開始側の値が大き
	り終了側の値が大きくなるように指	い値、または同一の値で設定されている
	定してください。	ため、エラーとなりました。
37	送信元ワイルドカードおよび宛先ワ	ワイルドカードの入力値が不正です。
	イルドカードは,10進ドット記法の	
	IPv4 アドレスで入力してください。	
38	VLAN 番号は 1~4095 の数値で入力	VLAN 番号が入力されていない,または
	してください。	1~4095 以外の数値が入力されていま
		す。
39	プロトコル番号は 0~255 の数値で入	プロトコル番号が入力されていない,ま
	力してください。	たは 0~255 以外の数値が入力されてい
		ます。
40	プロトコル名称またはプロトコル番	プロトコル名称またはプロトコル番号が
	号を入力してください。	入力されていません。
41	tos 値は 0~15 の数値で入力してくだ	tos 値が入力されていない,または 0~15

	さい。	以外の数値が入力されています。
42	送信元ポート番号および宛先ポート	送信元ポート番号および宛先ポート番号
	番号は 0~65535 の数値で入力してく	が入力されていない,または 0~65535
	ださい。	以外の数値が入力されています。
43	送信元ポート番号および宛先ポート	送信元ポート番号および宛先ポート番号
	番号は,終了側単独の指定が行えませ	が終了側にのみ設定されているため、エ
	\mathcal{N}_{\circ}	ラーとなりました。単独の指定は開始側
		に設定してください。
44	送信元ポート番号および宛先ポート	送信元ポート番号および宛先ポート番号
	番号の範囲指定時には,開始側より終	で、開始側より終了側の値が大きい値で
	了側の値が大きくなるように指定し	設定されているため, エラーとなりまし
	てください。	た。
45	そのフロー検出条件は既に存在しま	同一のシーケンス番号を持つフロー検出
	す。	条件が設定されているため、エラーとな
		りました。別のシーケンス番号を設定し
		てください。

(2) フィルタ管理ツールのログ情報テーブルに表示されるメッセ ージー覧

フィルタ管理ツールのログ情報テーブル上に表示されるメッセージの一覧を次 の表に示します。

表 5-3 ログ情報テーブル表示メッセージー覧

項番	メッセージ	内容
1	設定ファイルの保存に失敗しまし	設定ファイル「FilterTool.properties」の保
	た。	存に失敗しました。設定ファイルが外部
		のエディタで開かれており、ロックがか
		かっている状態か、ファイルが読み取り
		専用属性になっている可能性がありま
		す。
		設定ファイルを外部のエディタで開いて
		いる場合は閉じてください。読み取り専
		用属性になっている場合はアクセス権を
		設定してください。

2	ファイル読み込み中にエラーを検出	ファイルの内容が不正です。ファイルの
2	しました (ファイルの内容が不正	内容を確認してください。
	しょした。 (ノナイルの内谷が不正	
2	くり。 ノノイル 石	ファイルの区切り立字が不正です。ファ
3	ノノイル記み込み干にエノーを便山	ノノイルの区切り文子が小正くり。ノノ
	$\exists u : a = \exists u : a u$	イルの内谷を確認してくたさい。
	ノットシーレットシリ	ファイルの内容が不正です。該当の項目
4	ノノイル記み込み中に不正な値を使	クリイルの内谷が小正しり。 成当の項目
		の値を修正した後、ファイルの読み込み
3	ノアイル読み込み中に重援金球エノ	[項日名] M IP ノドレス」の場合、ノア
		イルビIP ノトレスの里陵を使知しました。 た IP スドレスた体烈やトズ体工した後
	アイル名],11番万=[11番万],[項日	C。IP ノトレイを確認わよい修正した後,
		ノアイルの読み込みを行ってくたさい。
6	ノアイル読み込み中にエラーを横田	ノアイルを読み込んに除,指正しにノア
	しました。(ノアイル [ノアイル名]	イルか見つからなかった場合に本メッセ
	か見つかりません。)	
		再度読み込むファイルの選択を行ってく
		たさい。
7	ファイル読み込み時に登録済みの装	インポートファイルを読み込んだ際、既
7	ファイル読み込み時に登録済みの装 置を検出しました。読み込みをスキ	インポートファイルを読み込んだ際,既 に登録済みの装置と同一の IP アドレス
7	ファイル読み込み時に登録済みの装 置を検出しました。読み込みをスキ ップします。(IP アドレス=[IP アドレ	インポートファイルを読み込んだ際,既 に登録済みの装置と同一の IP アドレス を持つエントリを発見しました。登録済
7	ファイル読み込み時に登録済みの装 置を検出しました。読み込みをスキ ップします。(IP アドレス=[IP アドレ ス],装置名=[装置名])	インポートファイルを読み込んだ際,既 に登録済みの装置と同一の IP アドレス を持つエントリを発見しました。登録済 み装置の情報を優先し,インポートファ
7	ファイル読み込み時に登録済みの装 置を検出しました。読み込みをスキ ップします。(IP アドレス=[IP アドレ ス],装置名=[装置名])	インポートファイルを読み込んだ際,既 に登録済みの装置と同一の IP アドレス を持つエントリを発見しました。登録済 み装置の情報を優先し,インポートファ イルの内容を読み飛ばします。
7	ファイル読み込み時に登録済みの装 置を検出しました。読み込みをスキ ップします。(IP アドレス=[IP アドレ ス],装置名=[装置名]) ファイル読み込み時に登録済みの装	インポートファイルを読み込んだ際,既 に登録済みの装置と同一の IP アドレス を持つエントリを発見しました。登録済 み装置の情報を優先し,インポートファ イルの内容を読み飛ばします。 インポートファイルを読み込んだ際,既
7	ファイル読み込み時に登録済みの装 置を検出しました。読み込みをスキ ップします。(IP アドレス=[IP アドレ ス],装置名=[装置名]) ファイル読み込み時に登録済みの装 置を検出しました。登録済み装置を	インポートファイルを読み込んだ際,既 に登録済みの装置と同一の IP アドレス を持つエントリを発見しました。登録済 み装置の情報を優先し,インポートファ イルの内容を読み飛ばします。 インポートファイルを読み込んだ際,既 に登録済みの装置と同一の IP アドレス
7	ファイル読み込み時に登録済みの装 置を検出しました。読み込みをスキ ップします。(IP アドレス=[IP アドレ ス],装置名=[装置名]) ファイル読み込み時に登録済みの装 置を検出しました。登録済み装置を 更新します。(IP アドレス=[IP アドレ	インポートファイルを読み込んだ際,既 に登録済みの装置と同一の IP アドレス を持つエントリを発見しました。登録済 み装置の情報を優先し,インポートファ イルの内容を読み飛ばします。 インポートファイルを読み込んだ際,既 に登録済みの装置と同一の IP アドレス を持つエントリを発見しました。登録済
8	ファイル読み込み時に登録済みの装 置を検出しました。読み込みをスキ ップします。(IP アドレス=[IP アドレ ス],装置名=[装置名]) ファイル読み込み時に登録済みの装 置を検出しました。登録済み装置を 更新します。(IP アドレス=[IP アドレ ス],装置名=[装置名])	インポートファイルを読み込んだ際,既 に登録済みの装置と同一の IP アドレス を持つエントリを発見しました。登録済 み装置の情報を優先し,インポートファ イルの内容を読み飛ばします。 インポートファイルを読み込んだ際,既 に登録済みの装置と同一の IP アドレス を持つエントリを発見しました。登録済 み装置の情報を上書きします。
7 8 9	ファイル読み込み時に登録済みの装 置を検出しました。読み込みをスキ ップします。(IP アドレス=[IP アドレ ス],装置名=[装置名]) ファイル読み込み時に登録済みの装 置を検出しました。登録済み装置を 更新します。(IP アドレス=[IP アドレ ス],装置名=[装置名]) 処理中にエラーが発生しました。前	インポートファイルを読み込んだ際,既 に登録済みの装置と同一の IP アドレス を持つエントリを発見しました。登録済 み装置の情報を優先し,インポートファ イルの内容を読み飛ばします。 インポートファイルを読み込んだ際,既 に登録済みの装置と同一の IP アドレス を持つエントリを発見しました。登録済 み装置の情報を上書きします。 AX-Networker's-Utility ユーザーズガイド
7 8 9	ファイル読み込み時に登録済みの装 置を検出しました。読み込みをスキ ップします。(IP アドレス=[IP アドレ ス],装置名=[装置名]) ファイル読み込み時に登録済みの装 置を検出しました。登録済み装置を 更新します。(IP アドレス=[IP アドレ ス],装置名=[装置名]) 処理中にエラーが発生しました。前 提ソフトウェア,または,インスト	インポートファイルを読み込んだ際,既 に登録済みの装置と同一の IP アドレス を持つエントリを発見しました。登録済 み装置の情報を優先し,インポートファ イルの内容を読み飛ばします。 インポートファイルを読み込んだ際,既 に登録済みの装置と同一の IP アドレス を持つエントリを発見しました。登録済 み装置の情報を上書きします。 AX-Networker's-Utility ユーザーズガイド (インストール編)および本ユーザーズ
7 8 9	ファイル読み込み時に登録済みの装 置を検出しました。読み込みをスキ ップします。(IP アドレス=[IP アドレ ス],装置名=[装置名]) ファイル読み込み時に登録済みの装 置を検出しました。登録済み装置を 更新します。(IP アドレス=[IP アドレ ス],装置名=[装置名]) 処理中にエラーが発生しました。前 提ソフトウェア,または,インスト ール時に展開された JAR ファイルが	インポートファイルを読み込んだ際,既 に登録済みの装置と同一の IP アドレス を持つエントリを発見しました。登録済 み装置の情報を優先し,インポートファ イルの内容を読み飛ばします。 インポートファイルを読み込んだ際,既 に登録済みの装置と同一の IP アドレス を持つエントリを発見しました。登録済 み装置の情報を上書きします。 AX-Networker's-Utility ユーザーズガイド (インストール編)および本ユーザーズ ガイドを参照し,前提ソフトウェアのフ
7 8 9	ファイル読み込み時に登録済みの装 置を検出しました。読み込みをスキ ップします。(IP アドレス=[IP アドレ ス],装置名=[装置名]) ファイル読み込み時に登録済みの装 置を検出しました。登録済み装置を 更新します。(IP アドレス=[IP アドレ ス],装置名=[装置名]) 処理中にエラーが発生しました。前 提ソフトウェア,または、インスト ール時に展開された JAR ファイルが 所定のディレクトリに存在しない可	インポートファイルを読み込んだ際,既 に登録済みの装置と同一の IP アドレス を持つエントリを発見しました。登録済 み装置の情報を優先し,インポートファ イルの内容を読み飛ばします。 インポートファイルを読み込んだ際,既 に登録済みの装置と同一の IP アドレス を持つエントリを発見しました。登録済 み装置の情報を上書きします。 AX-Networker's-Utility ユーザーズガイド (インストール編)および本ユーザーズ ガイドを参照し,前提ソフトウェアのフ ァイルおよびインストール時に展開され
7 8 9	ファイル読み込み時に登録済みの装 置を検出しました。読み込みをスキ ップします。(IP アドレス=[IP アドレ ス],装置名=[装置名]) ファイル読み込み時に登録済みの装 置を検出しました。登録済み装置を 更新します。(IP アドレス=[IP アドレ ス],装置名=[装置名]) 処理中にエラーが発生しました。前 提ソフトウェア,または,インスト ール時に展開された JAR ファイルが 所定のディレクトリに存在しない可 能性があります。	インポートファイルを読み込んだ際,既 に登録済みの装置と同一の IP アドレス を持つエントリを発見しました。登録済 み装置の情報を優先し,インポートファ イルの内容を読み飛ばします。 インポートファイルを読み込んだ際,既 に登録済みの装置と同一の IP アドレス を持つエントリを発見しました。登録済 み装置の情報を上書きします。 AX-Networker's-Utility ユーザーズガイド (インストール編)および本ユーザーズ ガイドを参照し,前提ソフトウェアのフ ァイルおよびインストール時に展開され たファイルがインストール先ディレクト
7 8 9	ファイル読み込み時に登録済みの装 置を検出しました。読み込みをスキ ップします。(IP アドレス=[IP アドレ ス],装置名=[装置名]) ファイル読み込み時に登録済みの装 置を検出しました。登録済み装置を 更新します。(IP アドレス=[IP アドレ ス],装置名=[装置名]) 処理中にエラーが発生しました。前 提ソフトウェア,または、インスト ール時に展開された JAR ファイルが 所定のディレクトリに存在しない可 能性があります。	インポートファイルを読み込んだ際,既 に登録済みの装置と同一の IP アドレス を持つエントリを発見しました。登録済 み装置の情報を優先し,インポートファ イルの内容を読み飛ばします。 インポートファイルを読み込んだ際,既 に登録済みの装置と同一の IP アドレス を持つエントリを発見しました。登録済 み装置の情報を上書きします。 AX-Networker's-Utility ユーザーズガイド (インストール編)および本ユーザーズ ガイドを参照し,前提ソフトウェアのフ ァイルおよびインストール時に展開され たファイルがインストール先ディレクト リに存在するかどうかを確認してくださ
7 8 9	ファイル読み込み時に登録済みの装 置を検出しました。読み込みをスキ ップします。(IP アドレス=[IP アドレ ス],装置名=[装置名]) ファイル読み込み時に登録済みの装 置を検出しました。登録済み装置を 更新します。(IP アドレス=[IP アドレ ス],装置名=[装置名]) 処理中にエラーが発生しました。前 提ソフトウェア,または、インスト ール時に展開された JAR ファイルが 所定のディレクトリに存在しない可 能性があります。	インポートファイルを読み込んだ際,既 に登録済みの装置と同一の IP アドレス を持つエントリを発見しました。登録済 み装置の情報を優先し,インポートファ イルの内容を読み飛ばします。 インポートファイルを読み込んだ際,既 に登録済みの装置と同一の IP アドレス を持つエントリを発見しました。登録済 み装置の情報を上書きします。 AX-Networker's-Utility ユーザーズガイド (インストール編)および本ユーザーズ ガイドを参照し,前提ソフトウェアのフ ァイルおよびインストール時に展開され たファイルがインストール先ディレクト リに存在するかどうかを確認してくださ い。ファイルが存在しない場合には,再

		す。			
10	処理中にエラーが発生しました。	処理中に予期しないエラーが発生しまし			
		た。本メッセージが表示された場合は、			
		販売元に問い合わせてください。			
11	ファイルの読み込みに失敗しまし	[ファイル]-[開く]操作に失敗した場合に			
	た。	表示される操作イベントログです。			
		本メッセージとともに出力される以下の			
		いずれかのメッセージの内容を確認して			
		ください。			
		「ファイル読み込み中にエラーを検出し			
		ました。(エラーメッセージ)」			
		「ファイル読み込み中に不正な値を検出			
		しました。(エラーメッセージ)」			
		「ファイル読み込み中に重複登録エラー			
		を検出しました。(エラーメッセージ)」			
		上記メッセージが出力されていない場合			
		は以下の対処を行ってください。指定し			
		た装置情報ファイルを外部のエディタで			
		開いている場合は閉じてください。			
12	ファイルの上書き保存に失敗しまし	[ファイル]-[上書き保存]操作に失敗した			
	た。	場合に表示される操作イベントログで			
		す。			
		保存先の装置情報ファイルを外部のエデ			
		ィタで開いている場合は閉じてくださ			
		い。読み取り専用属性になっている場合			
		はアクセス権を設定してください。			
13	ファイルの保存に失敗しました。	[ファイル]-[名前を付けて保存]操作に失			
		敗した場合に表示される操作イベントロ			
		グです。			
		保存先の装置情報ファイルを外部のエデ			
		ィタで開いている場合は閉じてくださ			
		い。読み取り専用属性になっている場合			
		はアクセス権を設定してください。			
14	アプリケーションが正常終了しませ	本ツール終了時に,ツールの設定情報や			
	んでした。	装置情報をファイルに保存できなかった			
		場合に、本メッセージが表示されます。			

		本メッセーシが出力された場合は、ツー
		ルの設定ファイルや装置情報ファイル
		が、読み取り専用になっている可能性が
		あります。
15	装置情報のクリアに失敗しました。	[ファイル]-[新規作成]操作に失敗した場
		合に表示される操作イベントログです。
		本メッセージが表示された場合,再度操
		作を行ってください。再度操作を行って
		も表示される場合は,販売元に問い合わ
		せてください。
16	グループの追加に失敗しました。	[グループ]-[追加]操作に失敗した場合に
		表示される操作イベントログです。
		本メッセージが表示された場合,再度操
		作を行ってください。再度操作を行って
		も表示される場合は、販売元に問い合わ
		せてください。
17	グループ情報の更新に失敗しまし	[グループ]-[編集]操作に失敗した場合に
	た。	表示される操作イベントログです。
		本メッセージが表示された場合、再度操
		作を行ってください。再度操作を行って
		も表示される場合は、販売元に問い合わ
		せてください。
18	グループの削除に失敗しました。	[グループ]-[削除]操作に失敗した場合に
		表示される操作イベントログです。
		本メッセージが表示された場合、再度操
		作を行ってください。再度操作を行って
		も表示される場合は、販売元に問い合わ
		せてください。
19	装置の追加に失敗しました。	[装置]-[追加]操作に失敗した場合に表示
		される操作イベントログです。
		本メッセージが表示された場合,再度操
		作を行ってください。再度操作を行って
		も表示される場合は、販売元に問い合わ
		せてください。
20	装置情報の更新に失敗しました。	 [装置]-[編集]操作に失敗した場合に表示
		される操作イベントログです。

		本メッセージが表示された場合、再度操
		作を行ってください。再度操作を行って
		も表示される場合は、販売元に問い合わ
		せてください。
21		
		される操作イベントログです。
		本メッセージが表示された場合,再度操
		作を行ってください。再度操作を行って
		も表示される場合は、販売元に問い合わ
		せてください。
22	アクセスリストの追加に失敗しまし	[アクセスリスト]-[追加]操作に失敗した
	7€°	場合に表示される操作イベントログで
		す。
		本メッセージが表示された場合は、再度
		操作を行ってください。再度操作を行っ
		ても表示される場合は、販売元に問い合
		わせてください。
23	アクセスリストの更新に失敗しまし	[アクセスリスト]-[編集]操作に失敗した
	た。	場合に表示される操作イベントログで
		す。
		本メッセージが表示された場合は、再度
		操作を行ってください。再度操作を行っ
		ても表示される場合は,販売元に問い合
		わせてください。
24	グループ [グループ名] に対する装	[実行]-[装置情報取得]操作に失敗した場
	置情報取得に失敗しました。	合に表示される操作イベントログです。
		本メッセージが表示された場合は, 「 <u>5.1</u>
		<u>トラブル発生時の対応</u> 」の「表 5-1 トラ
		ブル発生時の対応方法」を参照してくだ
		さい。それでもエラーが解消されない場
		合には販売元に問い合わせてください。
25	グループ [グループ名] に対するス	[実行]-[スタートアップコンフィグへの
	タートアップコンフィグへの反映に	反映]操作に失敗した場合に表示される
	失敗しました。	操作イベントログです。
		本メッセージが表示された場合は, 「 <u>5.1</u>
		<u>トラブル発生時の対応</u> 」の「表 5-1 トラ

		ブル発生時の対応方法」を参照してくだ
		さい。それでもエラーが解消されない場
		合には販売元に問い合わせてください。
26	装置 [IP アドレス(装置名)] に対す	[実行]-[装置情報取得]操作に失敗した場
	る装置情報取得に失敗しました。	合に表示される操作イベントログです。
		本メッセージが表示された場合は,「 <u>5.1</u>
		<u>トラブル発生時の対応</u> 」の「表 5-1 トラ
		ブル発生時の対応方法」を参照してくだ
		さい。それでもエラーが解消されない場
		合には販売元に問い合わせてください。
27	装置 [IP アドレス(装置名)] に対す	[実行]-[スタートアップコンフィグへの
	るスタートアップコンフィグへの反	反映]操作に失敗した場合に表示される
	映に失敗しました。	操作イベントログです。
		本メッセージが表示された場合は、「 <u>5.1</u>
		<u>トラブル発生時の対応</u> 」の「表 5-1 トラ
		ブル発生時の対応方法」を参照してくだ
		さい。それでもエラーが解消されない場
		合には販売元に問い合わせてください。
28	グループ [グループ名] のアクセス	インタフェース情報操作に失敗した場合
	リスト [アクセスリスト名] に対す	に表示される操作イベントログです。
	るインタフェース情報の更新に失敗	本メッセージが表示された場合、再度操
	しました。	作を行ってください。再度操作を行って
		も表示される場合は、販売元に問い合わ
		せてください。
29	グループ [グループ名] に対するア	グループの対する[アクセスリストの反
	クセスリスト [アクセスリスト名]	映]操作に失敗した場合に表示される操
	の反映に失敗しました。	作イベントログです。
		本メッセージが表示された場合は、「 <u>5.1</u>
		<u>トラブル発生時の対応</u> 」の「表 5-1 トラ
		ブル発生時の対応方法」を参照してくだ
		さい。それでもエラーが解消されない場
		合には販売元に問い合わせてください。
30	装置 [IP アドレス(装置名)] に対す	装置に対する[アクセスリストの反映]操
	るアクセスリスト [アクセスリスト	作に失敗した場合に表示される操作イベ
	名]の反映に失敗しました。	ントログです。
		本メッセージが表示された場合は, 「 <u>5.1</u>

		<u>トラブル発生時の対応」の「表 5-1 トラ</u>
		ブル発生時の対応方法」を参照してくだ
		さい。それでもエラーが解消されない場
		合には販売元に問い合わせてください。
31	装置情報ファイルの保存に失敗しま	装置情報ファイルの保存に失敗しまし
	した。	た。本メッセージが表示された場合は,
		装置情報ファイルが外部のエディタで開
		かれており、ロックがかかっている状態
		か、ファイルが読み取り専用属性になっ
		ている可能性があります。
		保存先の装置情報ファイルを外部のエデ
		ィタで開いている場合は閉じてくださ
		い。読み取り専用属性になっている場合
		はアクセス権を設定してください。
32	装置情報のインポートに失敗しまし	[ファイル]-[共通フォーマット]-[インポ
	72.	ート]操作に失敗した場合に表示される
		操作イベントログです。
		本メッセージとともに出力される以下の
		いずれかのメッセージの内容を確認して
		ください。
		「ファイル読み込み中にエラーを検出し
		ました。(エラーメッセージ)」
		「ファイル読み込み中に不正な値を検出
		しました。(エラーメッセージ)」
		「ファイル読み込み中に重複登録エラー
		を検出しました。(エラーメッセージ)」
		上記メッセージが出力されていない場合
		は以下の対処を行ってください。
		指定したファイルを外部のエディタで開
		いている場合は閉じてください。
33	装置情報のエクスポートに失敗しま	[ファイル]-[共通フォーマット]-[エクス
	した。	ポート]操作に失敗した場合に表示され
		る操作イベントログです。
		エクスポート先のファイルを外部のエデ
		ィタで開いている場合は閉じてくださ

		い。読み取り専用属性になっている場合			
		はアクセス権を設定してください。			
34	アプリケーションが起動しました。	アプリケーション起動時に必ず出力され			
		ます。			
35	ファイルの読み込みが正常終了しま	[ファイル]-[開く]操作が正常終了した場			
	した。	合に表示される操作イベントログです。			
36	ファイル読み込みをキャンセルしま	[ファイル]-[開く]操作をキャンセルした			
	した。	場合に表示される操作イベントログで			
		す。			
37	ツール上の情報をファイルに上書き	[ファイル]-[上書き保存]操作が正常終了			
	保存しました。	した場合に表示される操作イベントログ			
		です。			
38	ツール上の情報をファイルに保存し	[ファイル]-[名前を付けて保存]操作が正			
	ました。	常終了した場合に表示される操作イベン			
		トログです。			
39	ファイルの保存をキャンセルしまし	[ファイル]-[名前を付けて保存]操作をキ			
	₹E.o	ャンセルした場合に表示される操作イベ			
		ントログです。			
40	アプリケーションを終了しました。	[ファイル]-[終了]操作が正常終了した場			
		合に表示される操作イベントログです。			
41	アプリケーションの終了をキャンセ	[ファイル]-[終了]操作をキャンセルした			
	ルしました。	場合に表示される操作イベントログで			
		す。			
42	装置情報をクリアしました。	[ファイル]-[新規作成]操作が正常終了し			
		た場合に表示される操作イベントログで			
		+.			
43	装置情報のクリアをキャンセルしま	[ファイル]-[新規作成]操作をキャンセル			
	した。	した場合に表示される操作イベントログ			
		です。			
44	装置情報をインポートしました。	[ファイル]-[共通フォーマット]-[インポ			
		ート]操作が正常終了した場合に表示さ			
		れる操作イベントログです。			
45	装置情報のインポートをキャンセル	[ファイル]-[共通フォーマット]-[インポ			
	しました。	ート]操作をキャンセルした場合に表示			
		される操作イベントログです。			
46	装置情報をエクスポートしました。	[ファイル]-[共通フォーマット]-[エクス			

		ポート]操作が正常終了した場合に表示			
		される操作イベントログです。			
47	装置情報のエクスポートをキャンセ	[ファイル]-[共通フォーマット]-[エクス			
	ルしました。	ポート]操作をキャンセルした場合に表			
		示される操作イベントログです。			
48	グループを追加しました。	[グループ]-[追加]操作が正常終了した場			
		合に表示される操作イベントログです。			
49	グループの追加をキャンセルしまし	[グループ]-[追加]操作をキャンセルした			
	た。	場合に表示される操作イベントログで			
		す。			
50	グループ情報を更新しました。	[グループ]-[編集]操作が正常終了した場			
		合に表示される操作イベントログです。			
51	グループ情報の更新をキャンセルし	[グループ]-[編集]操作をキャンセルした			
	ました。	場合に表示される操作イベントログで			
		す。			
52	グループを削除しました。	[グループ]-[削除]操作が正常終了した場			
		合に表示される操作イベントログです。			
53	グループの削除をキャンセルしまし	[グループ]-[削除]操作をキャンセルした			
	た。	場合に表示される操作イベントログで			
		す。			
54	装置を追加しました。	[装置]-[追加]操作が正常終了した場合に			
		表示される操作イベントログです。			
55	装置の追加をキャンセルしました。	[装置]-[追加]操作をキャンセルした場合			
		に表示される操作イベントログです。			
56	装置情報を更新しました。	[装置]-[編集]操作が正常終了した場合に			
		表示される操作イベントログです。			
57	装置情報の更新をキャンセルしまし	[装置]-[編集]操作をキャンセルした場合			
	₹E₀	に表示される操作イベントログです。			
58	装置を削除しました。	[装置]-[削除]操作が正常終了した場合に			
		表示される操作イベントログです。			
59	装置の削除をキャンセルしました。	[装置]-[削除]操作をキャンセルした場合			
		に表示される操作イベントログです。			
60	アクセスリストを追加しました。	[アクセスリスト]-[追加]操作が正常終了			
		した場合に表示される操作イベントログ			
		です。			

61	アクセスリストの追加をキャンセル	[アクセスリスト]-[追加]操作をキャンセ			
	しました。	ルした場合に表示される操作イベントロ			
		グです。			
62	アクセスリストを更新しました。	[アクセスリスト]-[編集]操作が正常終了			
		した場合に表示される操作イベントログ			
		です。			
63	アクセスリストの更新をキャンセル	[アクセスリスト]-[編集]操作をキャンセ			
	しました。	ルした場合に表示される操作イベントロ			
		グです。			
64	グループ [グループ名] に対する装	指定グループ内の装置に対して装置情報			
	置情報取得を開始します。	取得を開始する際に出力されます。			
65	グループ [グループ名] に対する装	指定グループ内の装置に対する装置情報			
	置情報取得が正常終了しました。	取得が正常終了した際に出力されます。			
66	グループ [グループ名] に対する装	実行中画面の[中止]ボタンを押下し,指			
	置情報取得をキャンセルしました。	定グループ内の装置に対する装置情報取			
		得をキャンセルした際に出力されます。			
67	グループ [グループ名] に対するス	グループ内の装置に対してスタートアッ			
	タートアップコンフィグへの反映を	プコンフィグへの反映を開始する際に出			
	開始します。	力されます。			
68	グループ [グループ名] に対するス	グループ内の装置に対するスタートアッ			
	タートアップコンフィグへの反映が	プコンフィグへの反映が正常終了した際			
	正常終了しました。	に出力されます。			
69	グループ [グループ名] に対するス	実行中画面の[中止]ボタンを押下し,グ			
	タートアップコンフィグへの反映を	ループ内の装置に対するスタートアップ			
	キャンセルしました。	コンフィグへの反映をキャンセルした際			
		に出力されます。			
70	装置 [IP アドレス(装置名)] に対す	装置に対して装置情報取得を開始する際			
	る装置情報取得を開始します。	に出力されます。			
71	装置 [IP アドレス(装置名)] に対す	装置に対する装置情報取得が正常終了し			
	る装置情報取得が正常終了しまし	た際に出力されます。			
	た。				
72	装置 [IP アドレス(装置名)] に対す	実行中画面の[中止]ボタンを押下し,装			
	る装置情報取得をキャンセルしまし	置に対する装置情報取得をキャンセルし			
	7E.	た際に出力されます。			
73	装置 [IP アドレス(装置名)] に対す	装置に対してスタートアップコンフィグ			
	るスタートアップコンフィグへの反	への反映を開始する際に出力されます。			

	映を開始します。			
74	装置 [IP アドレス(装置名)] に対す	装置に対するスタートアップコンフィグ		
	るスタートアップコンフィグへの反	への反映が正常終了した際に出力されま		
	映が正常終了しました。	す。		
75	装置 [IP アドレス(装置名)] に対す	実行中画面の[中止]ボタンを押下し,装		
	るスタートアップコンフィグへの反	置に対するスタートアップコンフィグへ		
	映をキャンセルしました。	の反映をキャンセルした際に出力されま		
		す。		
76	グループ [グループ名] のアクセス	グループのアクセスリストに対するイン		
	リスト [アクセスリスト名] に対す	タフェース情報更新が正常終了した場合		
	るインタフェース情報を更新しまし	に表示される操作イベントログです。		
	た。			
77	グループ [グループ名] のアクセス	グループのアクセスリストに対するイン		
	リスト [アクセスリスト名] に対す	タフェース情報更新をキャンセルした場		
	るインタフェース情報の更新をキャ	合に表示される操作イベントログです。		
	ンセルしました。			
78	グループ [グループ名] のアクセス	グループのアクセスリストに対するフロ		
	リスト [アクセスリスト名] に対す	ー検出条件更新が正常終了した場合に表		
	るフロー検出条件を更新しました。	示される操作イベントログです。		
79	グループ [グループ名] のアクセス	グループのアクセスリストに対するフロ		
	リスト [アクセスリスト名] に対す	ー検出条件更新をキャンセルした場合に		
	るフロー検出条件の更新をキャンセ	表示される操作イベントログです。		
	ルしました。			
80	グループ [グループ名] のアクセス	フロー検出条件操作に失敗した場合に表		
	リスト [アクセスリスト名] に対す	示される操作イベントログです。		
	るフロー検出条件の更新に失敗しま			
	した。			
81	処理を中止します。	実行中画面の[中止]ボタンを押下し,装		
		置情報取得/アクセスリストの反映/スタ		
		ートアップコンフィグへの反映をキャン		
		セルした際に出力されます。		
82	グループ [グループ名] に対するア	グループに対してアクセスリストの反映		
	クセスリスト [アクセスリスト名]	を開始する際に出力されます。		
	の反映を開始します。			
83	グループ [グループ名] に対するア	グループに対してアクセスリストの反映		
	クセスリスト [アクセスリスト名]	が正常終了した際に出力されます。		

	の反映が正常終了しました。				
84	グループ [グループ名] に対するア	実行中画面の[中止]ボタンを押下し、グ			
	クセスリスト [アクセスリスト名]	ループに対してアクセスリストの反映を			
	の反映をキャンセルしました。	キャンセルした際に出力されます。			
85	装置 [IP アドレス(装置名)] に対す	装置に対するアクセスリストの反映を開			
	るアクセスリスト [アクセスリスト	始する際に出力されます。			
	名]の反映を開始します。				
86	装置 [IP アドレス(装置名)] に対す	装置に対するアクセスリストの反映が正			
	るアクセスリスト [アクセスリスト	常終了した際に出力されます。			
	名]の反映が正常終了しました。				
87	装置 [IP アドレス(装置名)] に対す	実行中画面の[中止]ボタンを押下し,装			
	るアクセスリスト [アクセスリスト	置に対するアクセスリストの反映をキャ			
	名]の反映をキャンセルしました。	ンセルした際に出力されます。			
88	ログのファイル出力に失敗しまし	動作ログのファイルへの出力に失敗した			
	te.	場合に出力されるエラーメッセージで			
		す。動作ログの格納ディレクトリの作成			
		に失敗したか、動作ログファイルの書き			
		込みに失敗しました。			
		動作ログファイルを外部のエディタで開			
		いている場合は閉じてください。動作ロ			
		グファイルおよび出力先ディレクトリが			
		読み取り専用属性になっている場合はア			
		クセス権を設定してください。			
		動作ログファイルおよび出力先ディレク			
		トリについては設定ファイル内容を参照			
		ください。			
89	処理中にメモリ不足エラーが発生し	メモリ不足エラーが発生しました。			
	ました。	「 <u>2.2.2 フィルタ管理ツールの初期設定</u>			
		<u>を行う</u> 」記載の手順でツールが使用する			
		利用可能な最大メモリサイズを変更して			
		ください。			

5.3 ログファイル

フィルタ管理ツールでは以下2種類のログファイルが障害解析用に出力されま す。それぞれのログファイルに格納される情報および格納先ディレクトリを説 明します。

・動作ログファイル

ログ情報テーブルに表示された内容すべてを記録したファイルです。デフォル トでは、以下のディレクトリに格納されています。

<TARGETDIR>¥FilterTool¥table-log

<TARGETDIR>…AX-Networker's-Utility インストール先ディレクトリ

デフォルトは C:¥Alaxala¥AX-Networker's-Utility

・デバッグログファイル

フィルタ管理ツールの動作内容や,エラー情報を記録した障害解析用のファイ ルです。デフォルトでは,以下のディレクトリに格納されています。

<TARGETDIR>¥FilterTool¥trace-log

<TARGETDIR>…AX-Networker's-Utility インストール先ディレクトリ

デフォルトは C:¥Alaxala¥AX-Networker's-Utility

6. 付録

この章では、フィルタ管理ツールのサポート項目などについて説明します。

<u>6.1 サポート項目</u>

6.1 サポート項目

本ツールでサポートする詳細な内容について説明します。 なお,凡例として,「○:サポート,×:未サポート」で示します。

6.1.1 アクセスリストの種別

表 6-1 アクセスリスト種別

アクセスリストの種別	サポート
MAC 条件	×
IPv4 条件(Standard)	×
IPv4 条件(Extended)	0
IPv6 条件	×
Advance 条件	×

6.1.2 フロー検出モードの種別

装置	AX6700S/ AX6600S/ AX6300S	AX4600S/ AX3800S	AX3600S			
フロー検出 モード(in)			AX3660S	AX3650S	AX3640S	AX3630S
layer2-1 layer2-2	×	×	×	×	×	×
layer2-3 layer2-4 layer2-5 layer2-6	×	×	×	×	Х	Х
layer2-dhcp-1	×	×	×	×	×	×
layer3-1 layer3-2	×	0	0	0	0	0
layer3-3 layer3-4	×	×	×	×	0	0
layer3-5	×	0	×	0	0	×
layer3-6	×	× (Ver.11.9 より前) 〇 (Ver.11.9 以上)	0	0	0	×
layer3-dhcp-1	×	×	×	×	×	×
layer3-mirror-1 layer3-mirror-2 layer3-mirror-3 layer3-mirror-4 layer3-mirror-5	×	×	×	×	×	×

表 6-2 装置とフロー検出モードの対応

装置				
フロー検出 モード(in)	AX2500S	AX2400S	AX2200S/ AX2100S	AX1250S/ AX1240S
layer2-1 layer2-2	\bigcirc	0	0	0
layer2-3	0	0	×	×
layer2-4 layer2-5 layer2-6	×	0	×	×
layer2-dhcp-1	×	×	×	×
layer3-1 layer3-2	×	×	×	×
layer3-3 layer3-4	×	×	×	×
layer3-5	×	×	×	×
layer3-6	×	×	×	×
layer3-dhcp-1	×	×	×	×
layer3-mirror-1 layer3-mirror-2 layer3-mirror-3 layer3-mirror-4 layer3-mirror-5	×	×	×	×

表 6-2 装置とフロー検出モードの対応(続き)

装置	AX6700S/	A V46008/	AX3600S			
フロー検出 モード(out)	AX6600S/ AX6300S	AX3800S	AX3660S	AX3650S	AX3640S	AX3630S
layer2-1-out layer2-2-out	×	×	×	×	×	×
layer3-1-out layer3-2-out layer3-3-out	×	×	×	×	×	×
layer3-mirror-1-out layer3-mirror-2-out	×	×	×	×	×	×

表 6-2 装置とフロー検出モードの対応(続き)

装置 フロー検出 モード(out)	AX2500S	AX2400S	AX2200S/ AX2100S	AX1250S/ AX1240S
layer2-1-out layer2-2-out	×	×	×	×
layer3-1-out layer3-2-out layer3-3-out	×	×	×	×
layer3-mirror-1-out layer3-mirror-2-out	×	×	×	×

6.1.3 インタフェース設定

装置	装置		インタフェース			
フロー検出 モード(in)	ip access-group	物理ポート	VLAN			
layer3-1	0	0	0			
layer3-2	0	0	○ (AX4600S/			
			AX3800S/			
			AX3660S)			
			imes (AX36508/			
			AX3640S/			
			AX3630S)			
layer3-3	0	○ (AX3640S/				
		AX3630S)				
		imes (AX4600S/	×			
		AX3800S/				
		AX3660S/				
		AX3650S)				
layer3-4	0	○ (AX3640S/				
		AX3630S)				
		\times (AX4600S/	×			
		AX3800S/				
		AX3660S/				
		AX3650S)				
layer3-5	0	○ (AX4600S/				
		AX3800S/	○ (AX4600S/			
		AX3650S/	AX3800S)			
		AX3640S)	\times (AX3600S)			
		\times (AX3660S/				
		AX3630S)				
layer3-6	0	○ (AX4600S/	0			

表 6-3 フロー検出モード(in)と設定可能インタフェースの対応

		AX3800S/	
		AX3660S/	
		AX3650S)	
		\times (AX3640S)	
layer3-dhcp-1	×	×	×
layer3-mirror-1			
layer3-mirror-2			
layer3-mirror-3	×	×	×
layer3-mirror-4			
layer3-mirror-5			
layer2-1	×	0	0
layer2-2	0	0	0
layer2-3	0	0	×
layer2-4	0	0	×
layer2-5	0	0	0
layer2-6	0	0	0
layer2-dhcp-1	×	×	×



表 6-4 装置とインタフェース設定の対応

表 6-5 装置と中継種別の対応



法置		AX4600S/
		AX3800S/
		AX3600S/
	AX6700S/	AX2500S/
	AX6600S/	AX2400S/
	AX6300S	AX2200S/
		AX2100S/
MAC モード		AX1250S/
		AX1240S
有効	0	×
なし	0	0

表 6-6 装置と MAC モードの対応

6.1.4 フロー検出条件

		プロ	1トコル番号	
プロトコ ル名称	AX6700S/AX6600S/AX6300S		AX4600S/AX3800 AX2500S/AX2400 AX2100S/AX1250	S/AX3600S/ S/AX2200S/ S/AX1240S
	IPv4	IPv6	IPv4	IPv6
ah	51	×	51	×
esp	50	×	50	×
gre	47	×	47	×
icmp	1	×	1	×
igmp	2	×	2	×
ip	すべての IP プロトコ	×	すべての IP プロトコ	×
	IL		IL	
ipinip	4	×	4	×
ipv6	×	×	×	×
ospf	89	×	89	×
рср	108	×	108	×
pim	103	×	103	×
sctp	132	×	132	×
tcp	6	×	6	×
tunnel	41	×	41	×
udp	17	×	17	×
vrrp	112	×	112	×

表 6-7 プロトコル名称とプロトコル番号

表 6-8 tos 名称と tos 値

tos 名称	tos 値
max-reliability	2
max-throughput	4
min-delay	8
min-monetary-cost	1
normal	0

表	6-9	ТСР	でのポー	ト名称とオ	ペート番号
---	-----	-----	------	-------	-------

ポート名称	ポート番号(IPv4)
bgp	179
chargen	19
daytime	13
discard	9
domain	53
echo	7
exec	512
finger	79
ftp	21
ftp-data	20
gopher	70
hostname	101
http	80
https	443
ident	113
imap3	220
irc	194
klogin	543
kshell	544
ldap	389
login	513
lpd	515
nntp	119
-----------	------
pop2	109
pop3	110
pop3s	995
raw	9100
shell	514
smtp	25
smtps	465
ssh	22
sunrpc	111
tacacs+	49
tacacs-ds	65
talk	517
telnet	23
time	37
uucp	540
whois	43

ポート名称	ポート番号(IPv4)		
biff	512		
bootpc	68		
bootps	67		
discard	9		
domain	53		
echo	7		
isakmp	500		
mobile-ip	434		
nameserver	42		
ntp	123		
radius	1812		
radius-acct	1813		
rip	520		
snmp	161		
snmptrap	162		
sunrpc	111		
syslog	514		
tacacs+	49		
tacacs-ds	65		
talk	517		
tftp	69		
time	37		
who	513		
xdmcp	177		

表 6-10 UDP でのポート名称とポート番号

表 6-11 装置と IPv4 アドレスおよびポート番号範囲指定

装置 範囲指定	AX6700S/ AX6600S/ AX6300S	AX4600S/ AX3800S/ AX3600S/ AX2400S	AX2500S	AX2200S/ AX2100S/ AX1250S/ AX1240S
送信元/宛先	0	×	×	×
IPv4 アドレス				
送信元/宛先	0	0	× (Ver.3.2.A 以下)	×
ポート番号			〇 (Ver.3.2.B 以上)	